

理事会資料



MHA

宮城県ハンドボール協会

1 日本協会全国理事長会報告

令和5年2月19日(日)

- (1) 2023年度日本協会収支予算について
 - 25,200万円の赤字見込み
 - 各企業チームから強化協賛金の協力を要請
 - 個人登録料の値上げ
- (2) 個人登録料の値上げについて
 - オリンピック後のスポンサー離れ、国の助成金減額のため
 - 値上げ分の資金使途の明確化
 - ・ 全国大会ネット中継、全国大会補助金増額、ユース・ジュニア選手派遣費の自己負担軽減、全国大会派遣レフリーの旅費補助に充当
- (3) 中学生クラブチームの在り方について
 - 全中へのクラブチーム参加、全国クラブ大会への中学校部活動チームの参加を認める。ただし、両方には参加できない。
 - 全国クラブ大会に向けたブロック予選の実施（できない場合はブロック内推薦）
※九州ブロック大会は福岡県で開催予定
 - 日本協会への登録は、チーム、個人ともに手続きをすること
- (4) パリオリンピックアジア予選について
 - 8月17日から26日、広島市で開催を検討中
- (5) 新リーグの状況について
 - 新リーグへの参加条件であるシングルエンティティ（リーグ機構による運営費等分配）、登録費用3,000万円への値上げが原因で不参加チームが多い。
 - オーナー会やオーナー・JHA・リーグ機構による合同会議の開催を経て、リーグ運営のための修正案をリーグ機構に提案し、現在、機構側で検討中である。
- (6) 規定の改正・新設について
 - 基本規定等の改正を行う。例えば、「ハンドボール」とはどの種目を指すのかを明確化する。
※現在は7人制ハンドボール、ビーチ、車椅子しか定義されていないが、今後、聴覚障害者ハンドボールも対象になるため
- (7) 国体改革について（中間報告）
 - 一般L登録選手は、「ふるさと」登録でのみ国民スポーツ大会に参加できるように検討中。
※JASPOからは、個人の資格を制限すべきではなく、国スポに参加できる規定を制定するように指導を受けている。
※日本リーグの本来の目的は代表強化とリーグの充実発展である。国体のためにチーム編成するのはメリットがない。リーグ側も同じ考えがあり、日本協会が決定すれば受け入れる姿勢である。今後、リーグ戦を10月から2月にかけて開催するスケジュール調整を検討していく。
※一般A登録者が減少している現状もある。（ジャパンオープンしか目標がないため）
 - 今後、参加するかどうかは個人の判断に委ねられる。
- (8) その他
 - インターハイ開催（函館市）に伴うクラウドファンディングを実施する。
※北海道で28競技を単独開催することで自治体の補助金が見込めないため、空調代の補助とする。

2 九州理事会報告

令和5年3月4日(土)

- (1) 審判部
 - ・ 全国大会派遣審判員の中に意識の差がみられる。今後、九州管内で全国大会が続くので、各県で全国大会を目指す意識の高揚を図ってほしい。
 - ・ 上級審査会に参加する審判員の旅費は自己負担。大会事務局からの謝金支給はないが、弁当手配は必要。
 - ・ 9月1日からの新规定施行に伴い、ブロック大会におけるテクニカルオフィシャルは各試合少なくとも1名以上の有資格者配置を基本とする。8月末までは各試合少なくとも1名以上の有資格者配置を推奨したい。
 - ・ 5月宮崎での九州クラブ大会は西地区A級審査を兼ねる。受験生は8ペア15名の予定。補充

は南九州4県と開催県で賄う。

- ・ 各県審判部にビーチ担当と指導担当を位置付けてほしい。

(2) 競技部

- ・ 全国クラブ大会予選を兼ねる九州クラブ大会を5月20日～21日に福岡県で開催するが、次年度より全国中学校体育大会または全国クラブ大会のどちらかの選択となるため、参加チームが少なくなることを懸念している。3月中には各県に意思確認を行う。
- ・ JOC大会の名称が「U15 ジュニアセレクトカップ」に変更
- ・ 九州ブロック大会は7チームでの参加となるため、組合せを4チームトーナメントと3チームの総当たり戦で行う。
- ・ ブロック大会の運営は当面基本的な感染対策を継続するが、有観客で開催し、応援方法については競技部と開催県で協議する。
- ・ 今後、大会を開催する場合は、夏冬とも開催空調設備の整った会場の確保が望ましい。
- ・ 上位大会につながるブロック大会では、テクニカルオフィシャルの3人体制で行う。人員確保が難しい場合は2人でも可とする。
- ・ 出血時のユニフォーム交換に関して、国体については13番以降の場号で対応すること。
- ・ 県内大会での正式ルール（ユニフォーム規定等）を徹底しておくこと。
- ・ 九州管内で続く全国大会に向け、各県にTDの依頼があるので協力してほしい。
- ・ これまではコロナ禍での対策として大会ライブ配信を実施しているが、今後は競技普及のために積極的に配信実施を検討してほしい。

※ 1コート（コート中央カメラ1台、得点カメラ1台、人員2名）・・・50,000円/日

1コート（コート中央カメラ1台、得点カメラ1台、テロップ・CM配信、人員3名）

・・・70,000円/日

1コート（コート中央カメラ2台、得点カメラ1台、人員3名）・・・65,000円/日

1コート（コート中央カメラ2台、得点カメラ1台、テロップ・CM配信、人員3名）・

・・・85,000円/日

※ 別途、交通費・宿泊費必要

- ・ ライブ配信の音声で拾う声に、指導者及び観客の暴言や不適切発言があり、クレームが届いている。

(3) 指導委員会

- ・ 各県の指導者資格講習会の情報を共有していく。

(4) その他

- ・ 九州協会60周年記念行事をブロック大会前日8月17日（金）に開催予定
- ・ 簡素化して開催。記念グッズも通販にて販売を計画している。
- ・ 全国選抜大会開催予算は2,000万見込み。会場は最大6名、補助員及び競技役員の確保が必要。九州協会から開催費の補助を出してほしい。

3 **全国指導委員会報告**

令和5年3月9日（木）

(1) 公認資格の義務化

- ・ 2024年度から登録チームに1名以上の公認資格保有者を義務付ける。
- ・ 資格については、ハンドボール資格に限らない。（資格レベルに条件はなし）
- ・ 2025度から国スポ、JOCに関してはコーチ3以上の資格保有者を1名以上登録することが条件となる。
- ・ 資格保有者を登録できないチームは、県協会内及び地域で資格を保有している方を役員として登録することで救済するが、日本協会としては登録するすべてのチームに資格の義務付けを推進していく。

※ 各カテゴリーの大会パンフレット役員欄に、資格保有者の資格名を記載するように推進する。

令和5年3月吉日

公財) 日本ハンドボール協会
登録者各位

公益財団法人日本ハンドボール協会
会長 湧永 寛仁
(公印省略)

登録料の改定について

前略 皆様におかれましては、日頃より当協会の事業に対し、ご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、来年度（令和5年度）から当協会の登録料を改定することとなりました。

東京オリンピックが終わり、当協会を含めたスポーツ界を取り巻く環境は激変、厳しい財務状況を改善すべく、日々改善に努めてまいりましたが、安定した財務体質にはまだ至っておりません。より充実した大会運営の実現、次世代のハンドボールプレーヤーや多くのファンの方々への還元を実行していく必要もあります。国や公的機関等からの助成金への依存度を下げて持続的な財務体質を実現するために、皆様にはご負担をお掛けすることになりますが、来年度から登録料の改定をお願いする次第です。なお、予算執行につきましては引き続き厳しく管理すると共に、マーケティング収入や大会運営からの収益向上に尽力して参りますので、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。 草々

2023 年度からの登録料値上げ 補足説明資料

公益財団法人日本ハンドボール協会（JHA）

- ✓ 登録料改定の具体的内容
- ✓ 登録料改定の背景
- ✓ Q&A

【登録料改定の具体的内容】

カテゴリー	チーム（金額） 個人/役員/学生・生徒・児童役員（金額）
一般L	チーム(700,000 円) 選手(3,300 円)/役員(3,000 円)
一般A	チーム(40,000 円) 選手(2,500 円)/役員(3,000 円)
リージョナル	チーム(10,000 円) 選手(2,000 円)/役員(3,000 円)
大学	チーム(20,000 円) 選手(2,000 円)/役員(3,000 円)/学生チーム役員 (2,000円)
高専・高校	チーム(10,000 円) 選手(1,500円)/役員(3,000 円)/生徒チーム役員 (1,500円)
中学校・中学生クラブ	チーム(5,000 円) 選手(1,300円)/役員(3,000 円)/生徒チーム役員 (1,300円)
小学生	チーム(5,000円) 選手(1,000円)/役員(3,000 円)/児童チーム役員 (1,000円)
ビーチ※1	チーム (5,000円) 選手 (2,000円) /役員 (3,000円)
マスターズ	チーム (5,000円) 選手 (2,000円) /役員 (3,000円)

- ・大学生以下の学生・生徒・児童チーム役員は選手と同額。
 - ・同学校の男女チーム役員を兼ねる場合には 1 チーム分の登録料のみ
 - ・同じ人が、選手とチーム役員を兼任する場合は、選手、チーム役員両方の個人登録料を支払わなければならない。
 - ・役員、選手の個人登録料は、本協会が定める金額以外に、別途各都道府県協会で定めることができる。
- ※1 JHA 登録している大学生以下の方は、ビーチ登録料は 1,000 円（チーム役員、選手とも）とする。

【登録料改定の背景】

1, 助成金の削減

JHA 含むスポーツ統括団体は、国の助成金として JSC(日本スポーツ振興センター)、JOC(日本オリンピック委員会)から多額の助成金をいただいております。

東京五輪前の 2019 年から 2021 年にかけて、東京五輪で成果を出す支援として助成金も増額されましたが、東京五輪後の 2022 年からは国の助成金も減額の方角となっております。

2, スポンサー離れ

東京五輪終了後、大口スポンサー 2 社の契約が終了しました。

2020 年より新型コロナウイルス感染症が蔓延し、日本も経済的に大きな影響がでて、各企業様も経営が苦しい状況が続いています。JHA としても積極的に新規のスポンサーを探して新たなスポンサー契約も獲得していますが、大口のスポンサーの獲得に至っておりません。引き続き、大口スポンサーの獲得に務めてまいります。

3, 諸物価の高騰

ロシアによるウクライナ侵攻を発端とした世界的なサプライチェーンの異変による資源価格や原材料価格の上昇は、世界的な物価や人件費の高騰を齎し、日本にもその影響が及んでいます。更に、日本においては円安による輸入コスト増が加わり、JHA の事業運営費も増加傾向となっております。特に海外遠征時の航空運賃はコロナ前の倍近くとなっております、JHA の大きなコスト増につながっております。

Q&A

1, JHA はどのような活動をしていますか？

また、登録料の値上げ分は何に使われますか？

A: JHA は、ハンドボールを通じた国民の健康増進を目的として活動を行っています。小・中学生、高校生、大学生から社会人までハンドボールの活動や各種大会運営を加盟団体を通じて支援する一方で、日本代表チームの強化に向けて、選手の発掘や育成、指導者や審判の育成、ジュニアやアンダーカテゴリーの代表候補選手の強化も行っています。

A: 登録料は JHA の運営の根幹を担っており、JHA 事業に幅広く活用されています。ただし、今回の登録費の値上げ分は使い道を明確にしました。

- ・JHA 主催の全国大会でのインターネット配信費用
- ・ジュニア、ユース代表の国際大会参加・遠征の費用の一部
- ・より質の高い試合運営のための審判の育成、指導システム
- ・学生向け各事業への補助等

2, 登録者には今回の改定でどのようなメリットがありますか？

A: 登録者個人のメリットは直接感じにくいところがありますが、下記のメリットに限らずの登録者への還元にも努めて参ります。

- ・全国大会のインターネット配信により、試合を閲覧できます。
- ・MY HANDBALL の機能を充実することにより、新たな使い方が増えます。ファンクラブ機能やチケット販売機能が 2023 年度中に使えるようになります。

3、他のスポーツ団体の登録料は？

A: 今回の改定後の登録料と他のスポーツの登録料を比較しました。
JHA と登録者数の近い協会・連盟を抽出しています。

単位：円

協会・連盟	登録者数	一般	大学生	高校生	中学生	小学生
ハンドボール協会	10万人	2,000~3,300	2,000	1,500	1,300	1,000
フェンシング協会	4千人	10,000	7,000	4,000	2,500	2,000
ラグビー協会	10万人	2,000	2,000	2,000	1,000	1,000
空手道連盟	9万人	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
水泳連盟	13万人	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
柔道連盟	15万人	4,000	3,000	2,500	2,000	1,500
バスケット協会	60万人	2,000	2,000	1,000	1,000	800

4、なぜ、すべてのカテゴリーが値上げ負担をしなければならないのか？

A: JHA 事業は登録者の方々からの登録料、JSC、JOC 等からの補助金・助成金、検定料、協賛金、寄付金で運営しています。
JHA は登録者のみなさま含むすべてのステークホルダーの方々から支えていただいて事業を行っております。今回の値上げにおいても登録者の方々に広くご負担をお願いしています。

指導普及強化部（指導普及強化委員会）

【委員】

委員長：北林健治
 委員：宮島隆二（成年男子）和田清子（成年女子）川野敦史（高校男子）鈴木 晃（高校女子）
 岡上 桂（中学男子）富山末希（中学女子）井本直樹（小学）蛭原崇裕（ビーチ）

【基本方針】

専門部規定及び委員会規定により、各カテゴリー間の情報共有を図り、連携を密にして、以下の内容に取り組む。

- 1 各カテゴリーにおける普及体制に関すること
- 2 本県強化策・一貫指導体制に関すること
- 3 国体種別監督及び中学生選抜、U12選抜チームの監督、選手選考に関すること
- 4 NTS選手選考並びに指導内容普及・伝達に関すること
- 5 女性アスリートの育成強化に関すること

【事業報告】

期日	会議名等	内容	会場
6月 5日（日）	第1回委員会	・2027国スポに向けた強化策について ・指導者資格取得について	綾てるはドーム
6月11日（土）	スタートコーチ講習会	・各カテゴリーの指導者による資格取得	小林秀峰高校
6月11日（土） ～12日（日）	技術講習会（ヒュンメル共催）	・ジークスター東京の甲斐昭人選手・信太弘樹選手による技術講習会	小林秀峰高校 三松地区体育館
8月20～21日（土～日） 27～28日（土～日）	九州ブロック大会	・20～21 少年種別 27～28 成年種別が実施	熊本県
11月27日（日）	第2回委員会	・次年度に向けた強化について ・2027国スポに向けた強化策について	綾てるはドーム
12月 3日（土） ～4日（日）	トップ選手強化事業	・来年度国体強化とそれ以降の国スポ強化を目指した、中高合同の強化事業	綾てるはドーム
12月 4日（日）	ターゲットエイジ事業	・2027国スポに向けた少年種別選手強化事業	綾てるはドーム
1月14日（土） ～15日（日）	トップチーム活用事業	・日体大招聘による成年少年女子選手強化事業	宮崎学園高校
1月28日（土） ～29日（日）	トップアドバイザー活用事業	・トップアドバイザー（大体大 楠本繁生 氏・下川真良 氏）を招聘した選手強化事業	宮崎学園高校（女子） 小林秀峰高校（男子）
2月 5日（日）	ターゲットエイジ事業	・2027国スポに向けた少年種別選手強化事業	宮崎学園高校
2月11日（土） ～12日（日）	トップアドバイザー活用事業	・トップアドバイザー（大体大 楠本繁生 氏）を招聘した選手強化事業	宮崎学園高校
2月26日（日）	第3回委員会	・次年度に向けた強化について（スタッフ案等） ・2027国スポに向けた強化策について	綾てるはドーム

【成果】

- 末廣会長・田村副会長・和田理事長・川越事務局長など、委員を越えて他にも数名ご出席いただき、3回の会議を開催することができた。2027年国スポを目指す上で普及・育成の面から強化策について、さまざまな角度から協議することで現状と課題について整理し、これからの対策についても考えることができた。
- 全カテゴリーの指導者資格保有者について確認し、未取得者に向けてのスタートコーチ講習を行った。たくさんの方々に受講していただき、有資格者を多数養成することができた。
- ヒュンメルとの共催による技術講習会を開催することができた。日本トッププレイヤーによる指導に触れることができ、大変有意義であった。

- 県スポーツ協会の各種補助事業を最大限活用し、トップチーム招聘事業・トップアドバイザー招聘事業・女性アスリート支援事業・ターゲットエイジ育成事業等を活用し、今後を見据えた各カテゴリーの強化を進めることができた。

【課題】

- 会議は3回実施できたが、2027までの構想や方針を固めるまでには至らなかった。
- 国体4種別・JOC男女共に全国へ進むことができなかった。協会としての取り組みは組織的にできているので、さらに一体感を持って各カテゴリーの強化を図っていきたい。県外強豪チームへの強化合宿などで本県チームの力を分析し、丁寧に強化していく必要がある。
- 事業について周知が徹底できていない場面があった。コロナ禍であったことや講師のスケジュール等でなかなか厳しい面もあったのだが、次年度からはより徹底していく必要がある。
- 各事業において、素晴らしい講師を招聘し貴重な内容を伝えていただいているのであるが、県内各カテゴリー・各チームにしっかりと落とし込まれていくことが大切である。一過性のものにするには勿体無い。各指導者がしっかりと学び、宮崎県のものにすることができるかを見届けていく必要がある。

日本ハンドボール協会指導者資格保有義務化10年計画

全ての競技者の安心とやりがいのために日本協会に登録する際に1名以上の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格保有者の登録を義務付ける。

タイムスケジュール

- 2021年 資格保有義務化開始（移行期間）
- 2024年 資格保有の完全実施
- 2025年 国民体育大会出場チーム及びJOC監督の公認コーチ資格保有の義務化
- 2026年 日本リーグチーム及び日本代表チーム監督及びコーチの上級コーチ資格保有の義務化

新制度における資格の役割

資格名	役割及び講習内容
スタートコーチ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブ、少年団、部活動等でのコーチングアシスタント（指導補助） ○集合講習1日（共通3h、専門4h以上）＋自宅学習 必要カリキュラム（共通15h、専門4h以上）
コーチ1（旧指導員）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブ、少年団、部活動等でのコーチングスタッフ ○集合講習4日（共通科目2日、専門科目2日）＋事前・自宅・事後学習＋検定試験 必要カリキュラム（共通45h、専門20以上）
コーチ2（旧上級指導員）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブ、少年団、部活動等での監督、ヘッドコーチ ○集合講習7日（共通科目3日、専門科目4日）＋事前・自宅・事後学習＋検定試験 必要カリキュラム（共通135h、専門40以上）
コーチ3（旧コーチ）	<ul style="list-style-type: none"> ・国体、JOCのコーチングスタッフ、日本リーグコーチングアシスタント ・ブロック～全国レベルの競技者・チームに対するコーチング ○集合講習10日（共通科目4日、専門科目6日）＋事前・自宅・事後学習＋検定試験 必要カリキュラム（共通150h、専門60以上）
コーチ4（旧上級コーチ）	<ul style="list-style-type: none"> ・日本リーグ、ナショナルのコーチングスタッフ ・国際大会レベルの競技者・チームに対するコーチング ○集合講習10日（共通科目4日、専門科目1日以上）＋事前・自宅・事後学習＋検定試験 必要カリキュラム（共通時間未定、専門80以上）

【令和5年度計画】

- ・ 技術講習会 6月 日（土）～ 日（日） 市
（スタートコーチ講習会）
- ・ 九州ブロック大会 8月19日（土）～20日（日） 大分県
- ・ 燃ゆる感動かごしま国体 10月 8日（日）～12日（木） 鹿児島県 霧島市
- ・ MTC 7月～2月
- ・ トップアドバイザー事業 9月～2月
- ・ トップチーム活用事業 1月
- ・ 強化委員会 6月～2月

競技委員会

令和5年3月

【委員】

委員長：川野雅史

委員：椎屋裕樹（一般） 川野雅史（高校） 丸岩貴和（中学）

石崎幸正（小学） 黒田慎也、甲斐勝郎（ビーチ）

【活動報告】

コロナ禍における競技運営実施

入場制限（入場チーム数、選手、応援、役員の数）

無観客、有観客についても感染状況等に応じて、各カテゴリで検討していただき、制限を掛けながら大会実施を行った。

対策（検温、チェックリストの提出、名簿の提出、リストバンドの配布、事前の検温票の提出）

検温、チェックリスト提出、入場の流れを運営側、参加者、応援者が理解することで、スムーズに対応できた。

統一様式での運用

感染拡大防止チェックリスト、入場者名簿、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の統一を周知してきた。カテゴリによっては、検温結果を記入する様式を準備する等、より万全を期する取り組みがなされた。

競技に向けた準備及び会場設営について

競技に必要な文書や道具について、各カテゴリの競技委員により、整理を進めている。
また、ルール改定にともなう会場設営についても審判部と協力しながら実施している。

【成果及び課題】

○各カテゴリにおいて、競技前、競技中、競技後の新型コロナ感染の報告が入っている。それにより、チーム・選手の出場辞退についても出ている。出場の可否についてそれぞれのカテゴリの専門部で検討を重ねていただいている。

○入場制限のルール作りは各カテゴリで行っている。制限については、感染状況に合わせて少しずつ緩和しているものの、役員の不足により応援者の入退場の管理について徹底できない場面もあった。引き続き、チーム関係者より応援者へ連絡していただき、協力を呼びかけていく。

○今後控える全国規模の大会に備えたトレーニングが不足している。

○競技運営に必要な物品の管理について

各カテゴリでの補充や整理を進めていく必要がある。

【次年度の方策】

○コロナ禍における大会実施及び競技運営について

事前にメールでの文書の配布や連絡をすることにより、諸会議や開会式の簡略化を行った運営を行った。しかし、必要な会議や大会を盛り上げる式典も削除している。必要なものとそうでないものを精査する必要がある。

入場規制についても、全国大会、九州大会に足並みを揃える形で緩和を行っていきたい。

○スコアシート作成支援システムの導入・実施

今後の上位大会開催に向けて、手書きのスコアシートからパソコンを使ったスコアシート作成支援システム（日本ハンドボール協会HP配布）を導入していきたい。

次年度以降は南九州大会（中学・高校）での実施を検討している。

2022年度 審判部報告

(審判長兼高校：岩崎 一般：野田 中学：丸岩・倉吉 小学：中藤)

2019年度→2022年度における登録者数の変化(今年度97名 登録数 全国10番目 九州2番目)

A級3名→2名 B級11名→14名(2) C級10名→37名(4) D級 40名→44名(16)

※()内は女性

以下に述べる状況を作り上げていくための土台は出来たと考えている。

1) 各県審判部(委員会)組織の変容

令和元年から審判部組織としては各カテゴリーに審判長を立てた。

役割 基本的には各カテゴリーの大会における割り当てを組み、審判長を務める。

審判部内での報告・連絡・相談を行う事で、業務全体への理解者を増やすことも目的の一つ。

2) 令和4年度の取り組みによる成果と課題

【課題】全カテゴリーの課題として新規取得者の獲得増 および 上級取得者の若返りについて
課題解決が進んだ理想の大会運営

各カテゴリーの大会最終日を、違うカテゴリーの上級審判員が吹笛する大会 としている。

【対策と成果①】各カテゴリー(一般と大学・高校・中学校・小学校)へ審判長を配置する事による連絡体制の充実

令和元年から3年までを準備期間として、保護者や指導に携わる方々の多い小学校 および 試合数が少なく他のカテゴリーに多くの審判員を依頼することで吹笛機会がなく、発掘・育成が進んでいなかった中学校について、顧問を含めた帯同審判による大会運営を基本とするように転換した。

各大会の趣旨や対戦を踏まえ、他のカテゴリーにおける上級審判員の配置等を、各カテゴリーの審判長同士での連絡・相談を密にして割り当てを作成するなど工夫している。取り組みには批判的な意見も聞かれるが、各カテゴリー審判長や理解者の努力もあり、より多くの方々に協力を得られるようになった。

移行期間を踏まえて4年目を迎える今年度の大会運営および登録状況を見る限り、新たな審判員が多くなり、顧問並びに保護者等における協力者の獲得は成功していると感じている。

上級審判資格の高齢化と大会派遣が偏る状況からの若返りと、物理的・体力的負担軽減の成果は出ている。

試合時間および試合数が多い高校の大会(一大会平均60試合)では、実質的な審判員数が足りないという課題を10年以上前から抱えており、割り当てにはかなり苦勞をしてきている。現在でも改善が成されているとは言い切れないが、当時の顧問や有資格の指導者には今より多大な負担を強いてきていた。一時期は1人審判制を含めた大会運営を考えたほどである。

現在では、地区大会の充実等を目的として費用を捻出し、レフェリー研修として審判員を派遣して下さる地区協会から手助けや、各カテゴリーから連絡を受けて参加くださる方々が増えたことで、ギリギリながら大会を運営できている。また、同じく試合数の多い県総合選手権大会では高校生レフェリーが吹笛する姿も多く見られるようになった。今後は上級審判員による吹笛を増やすためにも、レフェリー技術の向上を図りながら、各カテゴリーならびに地区協会レベルでの審判講習を充実させるよう働きかけていきたい。

【対策と成果②】マイハンドボールの導入の周知徹底

個人による手続き等負担は増えたが、試合を吹笛するために必要であるという意識を自覚してもらうために、各カテゴリーでの周知を徹底し、新規登録者の増加に繋げることが出来た。(例年登録者数は70名前後だったものから、今年度は97名登録)。まだ2年目ということもあり手続き上の問い合わせも多いが、登録手続きの簡素化と、全国的なチーム数、選手数、審判員数等のデータ化が容易になったメリットは大きいと考えている。

【対策と成果③】 高校 1 年生大会に合わせたヤングレフェリーの育成

この取り組みはコロナによって中止していたが、今年度 3 年振りに開催できた。これも審判員不足の側面を解消していくための方策として独自に進めた企画であったが、10 年目を迎え、県内はもちろん他県において審判をされるきっかけになった方々や、上級取得に繋がった方々とお会いすることが徐々に増えてきたことが成果である。

【対策と成果④】 B級およびC級取得者を増やす取り組み から MO・TD等における研修会の開催

4 年後から始まる全日本大会の地元開催に向け、競技レベルの向上を含めた視点を踏まえながら上級取得を促し、ルールに精通することで大会運営への正しい理解を深められるよう、各カテゴリーでアナウンスしている。

有資格制の導入と共に権限が大きくなるMO・TDの任務に関して、今年度より県に予算化して頂き、地元で開催する南九州大会を審判研修およびMO・TD研修の場として設定し、毎年研修会を開催する方向で進めるようにした。

4) 課題 と 5) 令和 5 年以降の方向性

- 他県と比較しても、A級取得者が大変少ない。この先 4 年以内にA級取得者 2 ペアを掲げて、全日本大会並びに日本リーグを吹笛する気概を持ち、今後の宮崎を引っ張る人材育成に努めていきたい。
その為にも、経験豊かな方々からの指導や助言を頂ける場を設定し、県内における吹笛レベルの向上へ向けた取り組みや、その意欲を高めていく環境整備（表彰や補助等の充実など）を図っていきたい。
- 全日本大会への参加について、コロナ等の影響もあり長年遠ざかっている状況があり、大会運営や審判としての大会参加に関する準備等について情報の遅れを感じている。情報共有・更新に努めていきたい。
- 私の力不足でもあるが、大会に関する協力姿勢や必要な連絡等について、事細かな説明なしでは最低限の協力も得られないような方々が増えているように感じる。大会運営や審判員に関しての理解や協力については、それぞれが立たれる立場で自分事として取り上げ、周囲に理解を得て頂くことが必要ではないかと考えている。

2022 年度 全日本大会・ブロック大会派遣状況

全日本大会登録者

① 丸岩・倉吉ペア

第 27 回ジャパンオープントーナメント鹿児島大会（コロナ関係により丸岩氏はキャンセルで不参加）
※欠員補充 → 田上（鹿児島県）

② 黒木・鈴木ペア

全日本小学生大会京都府開催（コロナ関係により両名ともキャンセルで不参加）
※欠員補充なし

九州ブロック大会

① 九州一般クラブ選手権 → 川野雅・宮本ペア

② 西日本クラブ選手権（B 級審査）→ 山本・野田・飛松・宮本・須志原の 5 名で受験

② 九州中体連大会 → 宮本・須志原ペア

② 九州ブロック大会 → 丸岩・倉吉ペア

③ 九州高校選抜大会 → 黒木・鈴木ペア

2023 年度 全日本大会審判員登録

① 宮本・須志原ペア ② 黒木・鈴木ペア ③ 宮島・野田ペア

2022年度 公認審判員登録者名簿

番号	級	カテゴリ	登録番号	氏名
1	A (審判長) (高体連)	高校	13865	岩崎 栄一
2	A (副審判長) (小学部)	小学	13302	中藤 圭祐
1	B	高校	10517	鈴木 晃
2	B	高校		百田 哲郎
3	B	高校	7918	川越 克紀
4	B	中学	12172	丸岩 貴和
5	B (副審判長) (中体連)	中学	13068	倉吉 将史
6	B	高校	14560	川野 敦史
7	B	高校	16671	宮島 隆二
8	B	高校	17189	齊藤慶太郎
9	B	高校	17187	黒木 聖子
10	B	高校	14983	川野 雅史
11	新規B	延岡市	19277	宮本 祐太
12	新規B (副審判長一般)	高校(外部)	20991	野田 航平
13	新規B	福岡県		須志原猛司
14	B (カミ)	宮崎市	20735	鈴木 梨香
1	C	高校	13086	福盛 浩一
2	C	高校	14614	野村 徹三
3	C	小学(外部)	9768	川野 賢一
4	C	宮崎市	15550	有田 二郎
5	C	中学	15644	富山 未希
6	C	高校	16674	三浦 里菜
7	C	中学	17191	甲斐 智広
8	C	延岡市	17192	佐藤 誠
9	C	小学(外部)	17196	甲斐 龍二
10	C	小学	18391	尾原 恵
11	C	都城市	19490	飛松 大貴
12	C	高校(外部)	19930	荒木 鴻志
13	C	高校	20995	山本 晋輔
14	C	小学(外部)	21000	石崎 幸正
15	C	高校	21944	池上 嘉夫
16	C	延岡市	21945	黒木 一成
17	C	小学(外部)	22821	蛭原 崇裕
18	C	高校	17743	甲斐 吉樹
19	C	中学	16665	塚田 貴大
20	C	中学	19278	待鳥 龍二
21	C	小学(外部)	22848	松山浩一郎
22	C	小学(外部)	22849	待木 貴仁
23	C	小学(外部)	23555	川野 雅人
24	C	小学(外部)	20978	満富 妃乃

番号	級	カテゴリ	登録番号	氏名
25	C	中学(外部)		岩倉 正仁
26	新規C	中学	21932	工藤 卓也
27	新規C	小学(外部)	22826	山本 清貴
28	新規C	高校(外部)	25074	内村 翼
29	新規C	高校(外部)	25073	中村 誠忠
30	新規C	中学	25080	満富 健太
31	新規C	中学	25081	岡上 桂
32	新規C	中学(外部)	25687	黒木 由成
33	新規C	高校	25689	宮田 一輝
34	新規C	高校(外部)	19279	川畑 拓也
35	新規C	高校(外部)	25685	蔵本 聖
36	新規C	延岡市		伊藤 大智
37	新規C	日向市	22828	河野 光星
1	D	高校(外部)	22818	柴田 圭
2	D	小学(外部)		菊村 明広
3	D	小学(外部)	20043	荒木 千春
4	D	都城市	22850	椎葉 直喜
5	D	小学(外部)	24302	後藤 隆
6	D	小学(外部)	24316	齋藤 大河
7	D	中学	25079	元水 勇人
8	D	小学(外部)	25082	三樹 智
9	D	小学(外部)	25077	金子 毅
10	D	小学(外部)	22852	甲斐 里子
11	D	中学	25688	倉掛康士朗
12	D	高校(高校生)	25686	中尾 彩華
13	D	小学(外部)	25684	三樹 彰
14	D	神奈川県	23702	川畑 明久
15	D	中学		内村 裕子
16	D	宮崎市	23987	本村 将吾
17	D	日向市	22829	小門 達矢
18	D	中学	25075	黒木 葵
19	D	高校(外部)		尾崎 洋一
20	D	中学	20736	宮川 忠
21	D	高校(外部)		橋口 真幸
22	D	高校		外園 英子
23	新規D	高校(外部)	26289	濱崎 涼
24	新規D	高校(外部)	26208	八尋 久志
25	新規D	高校	26290	長田 俊耐
26	新規D	高校	26220	湯川 瑠々奈
27	新規D	都城市	26397	山下 りか

番号	級	カテゴリ	登録番号	氏名
28	新規D	高校生	26209	田野 瑛一郎
29	新規D	高校生	26212	椎葉 泰誠
30	新規D	高校生	26211	井本 琉珂
31	新規D	高校生	26210	時任 涼太
32	新規D	高校生	26215	玉木 優衣
33	新規D	高校生	26218	黒木 咲良
34	新規D	高校生	26217	鈴木 理允
35	新規D	高校生	26216	猪股 あすか
36	新規D	高校生	26291	甲斐 凜夏
37	新規D	高校生	26247	生野 彩希
38	新規D	高校生	26246	高木 鈴花
39	新規D	高校生	26245	薦田 奈苗
40	新規D	高校生	26244	坂下 愛翔
41	新規D	高校生	26219	齋藤 心羽
42	新規D	高校生	26214	田中 七海
43	新規D	高校生	26213	久保田 大輝
44	新規D	高校生	26292	吉留 大陽
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
レフェリー登録総数97名				
A	2名			
	高校1		小学1	
B	14名			
	高校9	中学2		地区3
C	37名			
	高校12	中学9	小学10	地区6
D	23名			
	高校6	中学5	小学8	地区4
新規	4名			
	高校3			地区1
高校生レフェリー-新規17名				
	17名			

より**魅力**あるハンドボール実現のために、幅広い活躍の場、世代を**超**えたマンパワーを求めて




2023年9月より、**新**規程が施行されます!!



- # プレーヤーの**安心・安全**のために
- # インドアだけでなく、**ビーチ**ハンドボールの発展も目指して
- # **自覚と責任**を持ち、交代地域の管理やスムーズな試合運営に臨むために
- # 年齢、性別を**超**えた**活躍の場**の拡充を目指して
- # 指導体制を**確立**し、**一貫**指導による審判界の向上を目指して
- # ハンドボールの**発展**のために、審判界からできることを

※ T O : テクニカルオフィシャルの略

インドアハンドボール

公認資格	級	概要
審判員 	国際、A級、 B級、C級、D級 終身審判員兼審判指導員	# 定年制の 撤廃 (※全日本大会、ブロック大会は制限有) # それ以外に大きな変更はなし # 審判 指導員 としてだけでなく、公認 審判員 としても活動 可能 # 後進の指導や大会の管理運営などの 任 にあたっていただきます
T O ※ 	S級 A級、B級	# S級は、A級から協会による 推薦 を基本とする # 2023年9月より、各試合(各大会)、 有資格者 を 最低1名 配置 # B級から国際大会を除く全国大会への参加が可能 # 公認審判員資格を持っていなくても取得 可能
審判指導員 	S級 A級、B級、C級	# S級は、A級から協会による 推薦 を基本とする # D級を 除く 公認審判資格を保有する/していた者が取得できる資格 # 公認審判員や公認インストラクターへの 指導・助言 # 審判長、副審判長、審判長から指名された者等は 必須 資格

NEW

ビーチハンドボール

公認資格	級	概要
審判員兼T O ※ 	国際、A級、B級 終身審判員兼T O 兼審判指導員	# テクニカルオフィシャル資格と 併 せての認定 # 満 16 歳から取得可能 # 審判指導員だけでなく、公認審判員、公認T Oとしても活動 可能 # 後進の指導や大会の管理運営などの 任 にあたっていただきます
T O	S級	# S級は、A級から協会による 推薦 を基本とする
審判指導員	S級 A級	# S級は、A級から協会による 推薦 を基本とする # B級を 除く 公認審判資格を保有する/していた者が取得できる資格 # 公認審判員や公認インストラクターへの 指導・助言 # 審判長、副審判長、審判長から指名された者等は 必須 資格



◆ マイハンドへの登録は**4月1日**より開始 & 新規程の施行は**9月1日**となります

新資格制度にかかる費用について

※ 各資格における申請初年度に係る費用のみ簡易掲載しています（その他詳細は、協会HPを確認ください）

	種 別		価 格（税込/円）	備 考
インドア	公認審判員	D 級	6,500	掲載価格は、 2023年9月1日 からの価格 審査料・認定料・ワッペン・手帳代等含
		終 身	10,000	申請時点で、審判 インストラクター 資格も 兼任 で 自動登録
	★ 公認TO	B 級	1,000	審査料含
	★ 公認審判指導員 (審判インストラクター)	A 級	7,500	C 級審判員資格を有する者から取得が可能 保有する／保有していた級での申請 (例：B級審判員はB級審判インストラクター での申請が可能となります)
		B 級	5,000	
C 級		3,000		
ビーチ	★ 公認審判員兼TO	B 級	4,000	審査料・認定料・ワッペン代含 (その他、審判用品の購入が必要です)
		終 身	10,000	インストラクター資格も兼任での登録
	★ 公認審判指導員 (審判インストラクター)	A 級	3,000	ビーチA 級審判員(兼TO)資格を有する 者から取得が可能

お知らせ

- ◆ 登録は「マイハンド」で、**2023（令和5）年4月1日**より可能です
- ◆ インドア審判員は、「マイハンド」で登録後、**各都道府県協会**の指示に従い登録処理を行ってください  問い合わせは、各都道府県協会審判委員会へ
- ◆ **インドアD級**審判員の申請は、可能な限り**2023年8月31日**までにお願います
- ◆ 上記表内★印の資格の登録について  問い合わせは、日本協会審判本部へ
 - # 手続きは、「マイハンド上のみ」となります
 - # 新規申請者への認定研修会は、**2023年9月1日以降**に行います
 - # 認定研修会の連絡は、**各個人**に対して、メールにて案内します
- ◆ すべての資格、「マイハンド」登録の際には、**添付ファイル等のやり取り**ができる**e-mailアドレス**を、**必ず記載**ください
- ◆ 新規程の条文は、日本協会HPに掲載します。そちらから、ご確認ください



やむを得ない理由により保有する資格の継続が困難となる場合、**翌年度**の活動「**休止**」を申請することができます。



詳細は、日本協会HPからご覧いただくか、各都道府県審判長に問い合わせください。
(登録休止から、**復活**を希望される場合も、申請等が必要となります)

MO・TD 年間反省

宮川 忠

1 役員名

委員長	宮川 忠	委員	有田 二郎 (小学校) 工藤 卓也 (中学校)	村社 貞利・齊藤慶太郎 (高校) 荒木 千晴・山之口成美 (一般)
-----	------	----	----------------------------	--------------------------------------

2 事業記録等

- ・第49回県高校総体 5月28日～31日 (土～火) 綾てるはドーム
- ・みやぎ県民総合スポーツ祭 6月 5・ 6日 (土・日) 綾てるはドーム
- ・第33回小学校新人大会 6月18・19日 (土・日) さくらアリーナ
- ・第72回県中学校総体大会 7月23～25日 (土～月) 早水体育館
- ・第46回県高校1年生大会 8月10・11日 (水・木) 延岡工業・延岡高校・延岡星雲・延岡市民体育館
- ・第13回県中学生1年生大会 8月27・28日 (土・日) 綾てるはドーム
- ・第46回県中学校秋季大会 10月29・30日 (土・日) 宮崎市総合体育館
- ・第37回県小学生大会 11月 3、23日 (木、水) 早水体育館
- ・第57回県高校新人大会 11月12～14日 (土～月) 早水体育館
- ・第34回南九州高校生大会 11月26・27日 (土・日) 綾てるはドーム
- ・第1回南九州小学生大会 12月 2日 (土) 早水体育館
- ・第41回県高校生選抜 12月24・25日 (土・日) 綾てるはドーム
- ・第38回県中学生選抜大会 1月28・29日 (土・日) 綾てるはドーム
- ・第57回県総合選手権大会 2月19、25・26日 (日、土・日) 綾てるはドーム

・本年度は、MO・TD部門を立ち上げて3年目となった。本年度は、審判部の岩崎・中藤氏からの各カテゴリーの大会で、MO・TD研修を行っていただき、MO・TDの役割や試合前・試合中の簡単な業務の説明で、資料も(公財)日本ハンドボール協会の動画や資料を基におこなっていただいた。

各大会では、各カテゴリーの責任者でMO・TDの配置等を行っていただいたが、どのカテゴリーも審判やMO・TD、その他コロナ対策等での人数確保がなかなか思うように集まらなかった。

3 その他

- ・次年度より、MO・TDもライセンス登録を行い、ライセンスがないと大会では、MO・TDをできない可能性がある。

令和4年度 総務部・広報記録委員会 年間反省

1 役員

委員長	野村	委員	一般：日高 高専：赤木	高校：福盛 HP：鷗野	中学：待鳥	小学：甲斐
-----	----	----	----------------	----------------	-------	-------

2 活動報告と反省

1) ホームページによる情報発信と運用

- ① 大会要項・試合結果の公表
- ② 写真撮影とその掲載
- ③ その他

ホームページは大会情報とともに写真やその他の情報が随時提供できており、充実していると思われる。しかし、この運用と写真撮影・掲載はマンパワーに頼っている部分が多く、担当者に対する謝礼についても検討が必要である。また、現在写真撮影を担当していただいている高崎さんが退任される予定のため、次年度以降の写真撮影についての運用が課題となっている。

2) Twitterによる情報発信

各カテゴリーでの運用をお願いしているが、試合結果の速報などの活用が定着している。

3) インスタグラムによる情報発信

昨年度から運用が始まり、大会情報の他、チームやイベントの紹介などを掲載しているが、Twitterほどの定着はみられない。ホームページやTwitterとの活用の棲み分けと各カテゴリーへの活用方法の周知が課題と思われる。

4) 年間協会機関誌『宮崎物語（宮崎ハンドボールストーリー）』の発行

令和4年度は、新型コロナ前の大会実施状況に戻りつつあったが、観戦・応援の部分ではまだ制限も多く、コロナ前のような販売もできなかった。

3 課題と提案

1) ストーリー（冊子）の発行停止と電子データ化

従来の印刷・製本をやめ、ホームページ上への電子データ掲載のみとする。印刷・製本にかかっていた予算を、ホームページ担当者や写真撮影者への謝礼に充てる。

2) 写真撮影担当者の選任

一人の担当者ですべてのカテゴリーの大会の写真撮影をカバーするのは難しい。各カテゴリーごとに写真撮影者を選任する方向で検討する。

3) インスタグラム活用方法の周知

ホームページ、Twitterとの棲み分けも検討しながら、インスタグラムの活用方法について各カテゴリーへ周知していく。

4) ライブ配信の検討

1 役員名

担当部長 木切倉 良昭

延岡市理事長 田野 展浩

日向市理事長 金丸 裕司

宮崎市理事長

都城市理事長

小林市理事長 園田 卓磨

日向市理事長 谷口 美和

HP担当 鷗野

2 活動目的

- ① 県協会のサポート
- ② 各地区協会の情報共有
- ③ 国体に向けての意思統一

3 事業報告

- 各地区協会名簿作成
- 各地区理事長・HP管理者グループライン活用
- 各地区総会資料提出
- HP広告バナーの募集
- Jr獲得に向けての協会活動報告

4 課題

各地区協会のグループラインを作成して、様々な地区の問題点等が県協会内で共有することが出来た。審判育成については、延岡協会が先進的な行動を取っていて非常に参考になった。Jr獲得に向けては、三松小の教員・保護者・協会がグループラインを作成して情報共有したが、なかなか部員獲得には結びつかなかった。

来年度に向けては、コロナも消滅していくのでアクティブに行動して行きたい。

令和4年度 小学校の部 年間活動報告

1. 役員名及び組織

部長	松山浩一郎	副部長	山本清貴
総務委員長	谷口美和	広報記録委員長	甲斐里子
指導普及強化委員長	井本直樹	N T S 委員長	尾原恵
競技委員長	石崎幸正	審判委員長	中藤圭祐
MO・TD委員長	有田二郎		
監事	菊村明広		
委員	川野賢一 三樹智 後藤隆 齋藤大河 荒木裕志	川野雅人 吉田駿亮 吉村陽一 三樹彰 満富妃乃	金子毅 蛭原崇裕 待木貴仁 甲斐龍二

2. 事業報告

小学校専門部会議	4月29日(金)	宮崎市
第33回県小学校新人大会(全国予選)	6月18日・6月19日・7月2日	日南市
第58回県スポ少中央大会	6月26日(日)	宮崎市
第17回小学生チャレンジ交流大会	コロナウイルスにより中止	
第38回県小学生大会(九州予選)	11月3日(水) 11月23日(火)	都城市
第1回南九州小学生大会	12月3日(土)	都城市
宮崎県小学生交流大会	2月12日(日)	日南市
UMKスポーツフェスタ	3月11日～12日	宮崎市
第35回全国小学生大会	8月4日(木)～8月7日(日)	京都府京田辺市
第43回九州小学生親善大会	12月23日(金)～25日(日)	沖縄県那覇市

3. 各大会について

今年度はチャレンジ交流大会を除き全ての事業を行うことができた。序盤、感染対策のために各カテゴリーの日程を変えるなど工夫して行った。準備や片付けに関してもそれぞれの担当者が手際よく行動することにより以前にも増して早くなっている。今後も現状を維持しつつ、更に指導者の増員を期待したい。

4. 競技力について

中学2年生から小学5年生までを対象とした、初となるターゲットエイジ事業を行った。これまでは小学生同士の交流が主であったが、中学生と共に練習、ゲームをすることにより小学生にとっては得られるものが大きかったと感じている。U-12においては、大分県にて選抜大会に参加したが男女共に4位と、入賞まであと一歩という結果に終わった。今後は特に女子の競技人口を増やすのは言うまでもないが、競技力においても更に力を入れて指導しなければならないと強く感じた一年であった。

中学校の部 年間反省

中学校の部 担当 川野 美香子

1 協会役員名

副理事長	総務部	指導・普及・強化部	競技部
渡邊正徳	川野 美香子 待鳥 龍二	富山 未希 岡上 桂	宮川 忠 丸岩 貴和 工藤 卓也 倉吉 将史

2 事業記録

第73回宮崎県中学校総合体育大会	7月23～25日：早水公園体育文化センター
第51回九州中学校ハンドボール競技大会	8月6～8日：大分県
第51回全国中学校ハンドボール大会	8月18～21日：北海道
第12回宮崎県中学生ハンドボール選手権1年生大会	8月27日：綾てるはドーム
第31回九州JOCジュニアオリンピックカップ大会	10月1～2日：大分県
第46回県中学校秋季体育大会	10月29～30日：宮崎市総合体育館
第34回南九州中学生ハンドボール大会	11月20日：鹿児島県
第31回JOCジュニアオリンピックカップ大会	12月23～26日：徳島県
第38回宮崎県中学生選抜ハンドボール選手権大会	1月28～29日：綾てるはドーム
第35回九州中学生選抜ハンドボール選手権大会	3月17～19日：沖縄県
第18回春の全国中学生ハンドボール選手権大会	3月25～29日：富山県

3 各大会

- ・ 中止や延期をすることなく、すべての大会を開催することができた。新型コロナウイルス感染症に対する国の対応が緩和されてからも、検温や消毒、換気など感染症予防を徹底しながら大会を実施したことで、感染が大きく広がることはなかった。
- ・ 本年度は8月の全国大会に小林中学校（男子）が出場を果たした。
- ・ 本年度の反省を生かしながら、今後も感染症予防などを考えて大会運営を行っていかなければならない。

4 競技力について

- ・ 今年度は、昨年度に比べてコロナの影響による部活動練習及び練習試合の中止が緩和されたことで、少しずつではあるが活気を取り戻してきた。また、県内だけでなく、県外に練習試合に行くチームも徐々に増え、競技力の低下を少しでも食い止められたのではないかと感じている。
- ・ 本年度スタートした「ターゲットエイジ強化プロジェクト事業」を2回実施することができた。国スポ世代である小学6年生（U-12）と中学1年生（2年生を含む）が交流を深め、互いに刺激し合いながら活動することができた。始まったばかりの事業ではあったが、選手はもちろん、県内小・中学生の指導者にとって、意識を高めるよい機会となった。

5 その他

- ・ 小・高の関係者だけでなく、一般チームの方が大会運営の手伝いに来てくださり、本当にありがたかった。
- ・ 国民スポーツ大会2027に向けた一貫強化（小・中・高）の連携がより一層必要である。
- ・ 一昨年度より各チームからの帯同審判制で大会を運営しており、年を追うごとに審判・TD・MO等で、各チームから協力を得られるようになった。小・高・一般の方の協力をいただきながら運営せざるを得ないが、帯同審判は今後も続けていき、各チームスタッフがさらに大会運営に携わる意識が高まるようにしていきたい。
- ・ 上級の審判員が他のカテゴリーに比べてまだ少ない。今後も審判員増員のために継続した取り組みが必要である。
- ・ 中学部は教員の絶対数が少ないので、今後もコーチや保護者の方に理解してもらい、審判・TD・MOができる方を増やしていく活動を続けていきたい。

令和4年度ターゲットエイジ強化プロジェクト事業 選手名簿(男子)

選手の選考は、1年生大会＋県秋季大会＋県選抜大会です。
あくまでも「ターゲットエイジ強化プロジェクト事業」に参加する資格を得たということで、U-13や県選抜選手に選ばれたということではありません。その旨、選手本人と保護者に周知をお願いいたします。

NO.	所属チーム	氏名	ふりがな	利き腕	学年	身長	1年生大会 選考	県秋季大会 選考	県選抜大会 選考
1	吾田	細田悠真	ほそだゆうま	左	1	162	○		
2	祝吉	松山琥太郎	まつやまこたろう	右	1	166	○	○	○
3	祝吉	渡邊慎之介	わたなべしんのすけ	右	1	168	○	○	○
4	大宮	玉木拓海	たまきたくみ	右	2	142		○	○
5	大宮	待鳥凌空	まちとりりく	右	1	155	○	○	○
6	加納中ク	蛭原大翔	えびはらはると	右	2	169		○	○
7	加納中ク	堀 伊吹	ほりいぶき	右	2	174		○	○
8	加納中ク	花田雄二郎	はなだゆうじろう	右	2	167		○	○
9	加納中ク	稲用 瑛	いなもちあきら	左	1	146	○		○
10	加納中ク	村永凜太	むらながりんた	右	2	165			○
11	小林	東原稜磨	ひがしばるはるま	右	1	172	○	○	○
12	小林	下村佳久	しもむらよしひさ	右	1	155	○	○	○
13	小林	坂下心優人	さかしたしゆうと	右	1	165	○	○	○
14	小林	齊藤祐駆	さいとうたすく	右	1	158	○		○
15	小林	栗屋虎大朗	くりやこたろう	右	1	145	○		○
16	小林	勘場翔空	かんばとあ	右	1	143	○		○
17	小松原	楠浦陵太	くすうらりょうた	右	2	172		○	○
18	小松原	上西一心	かみにしいっしん	右	2	170		○	○
19	小松原	本田隆斗	ほんだりゆうと	右	2	167		○	○
20	小松原	立和名祐翔	たちわなゆうしょう	右	2	166		○	○
21	小松原	大田凜空	おおたりく	右	1	165	○		×
22	富島	青山勇吹	あおやまいぶき	右	2	158		○	○
23	富島	有働朋生	うどうともき	右	2	162		○	○
24	富島	脇元馨	わきもとひびき	右	2	165		○	○
25	富島	壹岐真都	いきまなと	右	1	166	○		○
26	延岡	内田 和	うちだかず	右	2	164		○	○
27	延岡	小谷駿斗	こたにはやと	右	1	168	○	○	○
28	岡富	高森天智	たかもりてんち	右	1	142	○		
29	福岡東ハンドボールスポーツ少年団	脇坂權吏	わきさかとうり	右	1	163	○		○
30	福岡東ハンドボールスポーツ少年団	甲斐颯王	かいふうが	右	1	163	○		○
31	福岡東ハンドボールスポーツ少年団	吉村航海	よしむらわたる	右	1	163	○		○
32	福岡東ハンドボールスポーツ少年団	田島晴天	たじまはるま	右	1	161	○		○
33	三松	山之上叶和	やまのうえとわ	右	2	170		○	○
34	三松	八ヶ代凌功	やかしろりく	右	2	171		○	○
35	三松	大浦煌晴	おおうらこうせい	右	2	172			○
36	三松	的場蓮叶	まとばれんと	右	2	170		○	○
37	三松	宇都宮 剣	うつのみやけん	右	2	167		○	○
38	三松	竹山 昊	たけやまそら	右	2	164		○	○
39	三松	勝目爽太	かつめそうた	右	2	160		○	○
40	三松	松山龍牙	まつやまりょうが	右	1	161		○	○
41	三松	吉留悠泰	よしどめゆうだい	右	1	151	○	○	○
42	三松	轟木漣千	とどろきれん	右	1	162	○		○
43	三松	齊藤晃星	さいとうこうせい	右	1	155	○		○

令和4年度ターゲットエイジ強化プロジェクト事業 選手名簿(女子)

選手の選考は、1年生大会+県秋季大会+県選抜大会です。
あくまでも「ターゲットエイジ強化プロジェクト事業」に参加する資格を得たということで、U-13や県選抜選手に選ばれたということではありません。その旨、選手本人と保護者に周知をお願いいたします。

選手名簿(女子)

NO.	所属チーム	氏名	ふりがな	利き腕	学年	身長	1年生大会 選考	県秋季大会 選考	県選抜大会 選考
1	祝吉	河野美音	かわのみおん	右	2	160		○	○
2	祝吉	前田優希	まえだゆき	右	2	165		○	○
3	祝吉	山口真凜	やまぐちまりん	右	2	158		○	欠
4	祝吉	永山優莉	ながやまゆうり	左	2	154		○	○
5	祝吉	合澤莉子	あいざわりこ	右	2	153		○	○
6	祝吉	中野葵海	なかのあみ	右	1	157	○	○	○
7	祝吉	永山紗々空	ながやまささら	右	1	154	○		○
8	大宮	井上桃歌	いのうえももか	右	1	159	○	○	○
9	大宮	齋藤絢葉	さいとうあやは	右	1	159	○	○	○
10	岡富	松本麻央	まつもとまお	右	2	156		○	○
11	岡富	戸松碧音	とまつあおの	右	1	152	○		○
12	小林	堀内 玲	ほりうちれい	右	2	150		○	○
13	小林	谷口あかり	たにぐちあかり	右	2	148		○	○
14	小林	堀内 鈴	ほりうちりん	右	1	146	○	○	○
15	大王谷	原野愛実	はらのまなみ	右	2	163		○	○
16	大王谷	山本陽菜	やまもとひな	右	2	167		○	○
17	富島	佐藤庵俐	さとういおり	右	2	158		○	○
18	富島	河野亜衣莉	かわのあいり	右	1	149	○	○	○
19	富島	三樹咲彩	みつぎさあや	右	1	162	○		○
20	富島	小森桜和	こもりさわ	右	1	149	○		欠
21	富島	青山優姫子	あおやまゆきこ	右	1	147	○		○
22	延岡	新名 夢	にいなゆめ	右	1	161	○		○
23	延岡東ハンドボールスポーツ少年団	福留夢徠	ふくどめゆら	右	1	155	○		○
24	延岡東ハンドボールスポーツ少年団	黒田愛禾	くろだあいか	右	1	155	○		○
25	延岡東ハンドボールスポーツ少年団	田中心暖	たなかこのん	右	1	155	○		○
26	延岡東ハンドボールスポーツ少年団	小野 楓	おのかえで	右	2	158			○
27	延岡東ハンドボールスポーツ少年団	本間千遥	ほんまちはる	右	2	168			○
28	三松	谷口 麗	たにぐちうらら	右	2	149		○	○
29	三松	塚田愛璃	つかだあいり	右	1	166	○	○	○
30	三松	藤本あかり	ふじもとあかり	右	1	162	○	○	○
31	三松	牧野百花	まきのももか	右	1	156	○	○	○
32	三松	山口珠央	やまぐちみお	右	1	156	○	○	○

高校専門部報告

1. 役員名

部長	黒 木 篤	委員長	川 野 敦 史	副委員長	川 越 克 紀
委員	田 村 秀 彦 岩 崎 栄 一	川 野 雅 史 三 浦 里 菜	斉 藤 慶 太 郎 福 盛 浩 一		

2. 事業記録

1) 高体連第1回競技専門委員長会	4. 11 (月)	宮崎南高校
2) 第1回専門委員・監督会議	5. 6 (金)	宮崎県体育館
3) 中高合同競技専門委員長会	5. 13 (金)	宮崎南高校
4) 第49回県高校総体	5. 28 (土) ~ 5. 31(火)	綾てるはドーム 他
5) 九州高体連ハンドボール専門委員長会	6. 17 (金)	熊本県熊本市
6) 第72回全九州高校ハンドボール選手権大会	6. 17 (金) ~ 6. 19(日)	熊本県熊本市 他
7) 第2回専門委員会	7. 7 (木)	宮崎南高校
8) 全国高体連ハンドボール専門委員長会	7. 29 (金)	愛媛県・松山市
9) 第73回全日本高校ハンドボール選手権大会	7. 29 (金) ~ 8. 5 (金)	愛媛県・松山市
10) 宮崎県高等学校1年生総合体育大会	8. 10 (水) ~ 8. 11 (木)	延岡市民体育館 他
11) 第42回九州国体	8. 19 (金) ~ 8. 21 (日)	熊本県山鹿市 他
12) 高等学校等トップ選手強化事業 (前期)	中止	
12) 第2回監督会議	10. 17 (月)	宮崎公立大交流センター
13) 第57回県高校新人ハンドボール大会	11. 12 (土) ~ 14 (月)	早水体育文化センター 他
15) 高体連第2回競技専門委員長会	11. 24 (木)	宮崎南高校
14) 第34回南九州ハンドボール大会	11. 26 (土) ~ 27 (日)	綾てるはドーム
16) 高等学校等トップ選手強化事業 (後期)	12. 3 (土) ~ 4 (日)	綾てるはドーム
17) 第41回県高校ハンドボール選抜大会	12. 24 (土) ~ 25 (日)	綾てるはドーム
19) 第3回専門委員会	1. 27 (木)	宮崎公立大学交流センター
20) 第49回九州高校ハンドボール選抜大会	2. 3 (金) ~ 6 (月)	佐賀県佐賀市 他
21) 第46回全国高校ハンドボール選抜大会	3. 24 (金) ~ 29 (水)	岐阜県・三重県

3. 競技記録

別紙

4. 反省と展望

1) 競技運営について

① 高校総体

綾てるはドーム・天ヶ城体育館、2会場4コートで実施。男子が15校、女子が15校の参加となった。コロナ禍での大会となったため部員数×2名、選手や保護者の入場も制限、応援も声を出しての応援を禁止とした。しかし、どの試合も熱戦を展開。接戦が多く選手達の気迫のこもった試合が多数みられた。しかし、応援がないのはさみしい状態であった。男子は、小林秀峰高校が22大会連続27回目、女子は宮崎学園高校が2年連続15回目の優勝をおさめた。男子は延岡工業高校が2位争いを勝ち抜き準優勝。女子も力の拮抗した中、練習量で勝った延岡商業が準優勝であった。

綾てるはドームには3コートあることから、計画的に運営ができた。記録送信もスムーズであり、大会運営も各役員の協力で満足できる状態であった。コロナウイルス感染防止方策に対して各先生方が非常に協力的で、全体的に落ち着いた運営状態であった。これからさらにチーム数増加と部員の確保を狙うため、指導者の増加にも力を入れていきたい。

② 一年生大会

男子14校、女子11校の出場校であった。男女共に新型コロナウイルスによる辞退のチームがあったが、3年ぶりに延岡市で開催することが出来た。延岡市協会の協力で大会運営も大変スムーズであった。男子は宮崎第一高校が経験者を多く補強した小林高校を退け、優勝。女子は宮崎大宮高校が優勝2位は小林秀峰高校が準優勝。次年度から1年生大会が開催の有無が未定ではあるが、技術の向上やチームの交流を深め、部員の定着や普及は大切な大会だと再確認することが出来た。来年は、宮崎県体育館が完成します。1年生大会は、延岡市開催で定着させて今後も継続させていきたい。

③ 新人大会

男子15校、女子15校の参加であった。男子は小林秀峰高校が24年連続30回目の優勝。女子は宮崎学園高校が3年連続17回目の優勝となった。男子は優勝した小林秀峰高校に都城泉ヶ丘高校がチャレンジしたが、前半大きくリードされ、後半も余裕を持った小林秀峰に突き放される内容であった。3位には宮崎第一高校が入った。女子は宮崎学園高校が宮崎商業高校の挑戦を退け大差で優勝した。他のベスト4に入った高校にも将来性のある選手が育っており、全体のレベルアップが期待できる。更なる競技力の向上を図ってほしい。

本年度は例年通りの都城開催になり、都城早水公園体育文化センターを2面、高城体育館、都城工業高校、都城泉ヶ丘高校を使用しての大会になった。今大会、都城地区の高校から役員を派遣していただき、大変感謝している。小中体連の先生方の積極的な協力により、役員がかなり充実したかたちで運営できた。

④ 選抜大会

新人大会の男女ベスト8が参加。綾てるはドームで開催。予選トーナメント・決勝リーグ方式が定着している。男子は強化の進んだ小林秀峰高校が安定した試合で24年連続の優勝。2位には都城泉ヶ丘高校が食い込んだ。女子は、充実した仕上がりを見せた宮崎学園高校が3年連続の優勝を果たした。2位には勢いのある宮崎商業高校が小林秀峰高校、日向高校を突き放すかたちとなり九州選抜大会への出場権を獲得した。

今年度は審判員を含む大会役員の確保が比較的スムーズで、たくさんの協力を得られた。しかし例年年末ということもあり、役員確保は苦勞することが予測される。何らかの対策を考えたい。1試合に2名のTDを配置したが、1名の時よりも安定した試合運営ができています。

2) 競技力について

① 男子

長い期間すべての大会において、小林秀峰高校が安定した実力を発揮して優勝をおさめ、本県男子高校界の中心的存在となっている。県内では敵なしという状態であるが、九州・全国での上位進出に関してはまだまだ課題を残している。今年度の国体少年男子には、延岡工業高校の選手1名を補強して宮崎選抜として出場。2位以下のチームに力をつけてもらうことと、指導者の資質向上が必要と考える。ベスト4に進出したチームには好選手がいるので、しっかり強化すれば国体の選抜チームの強化にもつながると考える。

② 女子

県高校総体では宮崎学園高校が優勝をおさめた。九州ブロック国体では、選抜チームとしてベスト4のチームから数人選出されている。新チームに移行し、宮崎商業高校、小林秀峰高校、日向高校の上位チームの力が拮抗してきている。各学校好選手をそろえており、上位4校で切磋琢磨し競技力を高め、安定して全国トップレベルを維持できるようにしてほしい。

男女共に、小中高一貫指導の充実を再度検討していく必要がある。また、ハンドボールのシステム自体も県全体として研究し研修を重ねていくことが求められる。男女共に国民体育大会への出場と上位進出を目指し計画的に強化を進めてもらいたい。それを通じて、4年後に行われる全国選抜大会、宮崎国民スポーツ大会にむけてこれからの準備を充実させていきたい。

令和4年度(2022年度) 一般の部 年間反省

1. 役員(R4.4月当初)

総務	矢野 美奈子	強化(男子)	種子田 健太	競技	椎屋 裕樹	TDMO	山之口 成美
審判	野田 航平	強化(女子)	三浦 里菜	会計	橋口 真幸		荒木 千晴
*九州社会人連盟の役員・・・男子:種子田 健太、女子:矢野 美奈子						広報	日高 佳穂

※ 役員(R5～予定)

総務	野田 航平	強化(男子)	宮田 一輝	広報	日高 佳穂	競技	小松 知寛
審判	宮本 祐太		荒木 鴻志		時任 宏武		荒木 千晴
会計	橋口 真幸	強化(女子)	和田 清子	TDMO	山之口成美		和田 涼夏

3. 反省と展望

(1)事業記録、競技運営について

① 令和4年度みやざき県民総合スポーツ祭

男子7チーム、女子3チームで女子が少なかった。各地域に女子の参加の呼びかけをしていく。準備片付けを含め、各チームに割り振りを明確にして全体で運営していく体制づくりが必要。

② 第14回南九州女子クラブリーグ

熊本県主管で3年ぶりに1日のみの開催で実施。本県からはHC宮崎が参加。次年度は鹿児島県主管で1日開催の予定。 11/12(日)か11/26(日)の予定。

③ 第6回Mリーグ ※今年度は高校も含め例年通り実施。

第1節が台風のため中止となり、全試合消化できなかったが、高校大学社会人のよい交流の場となった。高校生の参加が少ないことや、日程調整が難しいことから、次年度からの大会のあり方を検討中。

④ かわにしスポーツ杯第57回宮崎県総合ハンドボール選手権大会

かわにしスポーツの冠大会として協賛いただき、3年ぶりに開催。高校生の参加が少なかったが、男子21チーム、女子10チームの参加。感染症対策で待機場所や動線を設定。当日の運営委員の少なさから、細かな運営上の課題があったため、次年度は当日の運営委員を増やし改善していきたい。

(2)競技力及び今後の課題

① 九州一般・女子クラブハンドボール選手権大会(大分県)

男子が準決勝で敗退したが、ジャパンオープン出場権を獲得。女子は1回線勝利、準々決勝で敗退したが、西地区大会出場権獲得。ジャパンオープンでは2回戦敗退。西地区大会では接戦の末3位入賞を勝ち取った。

② 国民体育大会 九州ブロック大会(熊本県)

男子が1回戦1点差で福岡に勝利したが、準決勝にて佐賀県に敗退、女子は1回線に鹿児島県に敗退。

③ 日本選手権九州 ブロック大会(沖縄県)

女子は選手が揃わず、不参加となった。男子は宮崎フェニックスが日本選手権の出場権を獲得。日本選手権では1回戦、日本体育大学相手に44-31で敗退した。

社会人全体の競技力向上と組織強化のため、下記の課題について来年度取り組んでいきたい。

課 題(問題点)	解 決 案
①Mリーグの継続実施 ・高校の参加減	9月からスタート予定。 高校が参加できない、参加しない理由を聞き、よりよい大会のあり方を模索中。従来の実施の仕方では、日程調整や全試合実施が難しい。全面的に変えていく方向で専門部で協議している。
・日程、会場の確保 ・各チームの移動負担	各カテゴリー行事との重なりをできるだけ避けるが、調整が難しい。R5は延岡市民体育館は確保済み。
・運営の分担	社会人専門部を中心に、参加チームの各節の主管を割り振ったり、当日の運営を具体的に割り振って、全体で運営していく。
③各地域のチーム減 高校・大学との繋がり	特に女子チームの活動の衰退が課題である。各地域に男子とともに活動できるよう、高校の先生方に呼びかけたり、卒業生の進路を把握する。
④感染症対策	国や県の方針のもと、県協会の作成の感染症対策や名簿等を共有し、大会運営では、各チームに共通理解と遵守の徹底を呼びかける。必要に応じて一般の部独自での対策を講じる。
⑤競技力とSNSの活用	社会人全体の活性化を図るため、各チームの活動や練習会、チーム状況などを、TwitterやInstagramで発信し、社会人選手の増員や活性化、県全体の競技力向上を目指したい。
⑥運営委員の増員	次年度、役員を一部変更。各委員会の副を設けて専門部員を増やし全チームで組織運営にあたる。国スポに向けて、大会運営に関わる人員を増やしていく。

*次年度 総合スポーツ祭初日に、社会人運営委員会を実施予定

令和4年度宮崎県ハンドボール協会事業報告

期 日	事 業 内 容	会 場
4 16 20	県理事会 県体協事務事業説明会、国体参加申込説明会(川越)	公立大学交流センター 県武道館
5 6 12 28~31	第2回県民総合スポーツ祭実行委員会(川越) 強化選手指定証交付式、チームみやぎミーティング (和田、川野敦、宮島) 第48回高校総体	県武道館 県武道館 てるはドーム他
6 4~5 11~12 17 17~19 18~19 26	県民総合スポーツ祭 ヒュンメルクリニック、スタートコーチ講習会 九州理事長会議(和田) 九州高校総体 第33回小学生新人(全国予選) スポーツ少年団中央大会	てるはドーム 小林市 熊本県 熊本県 さくらアリーナ 県体育館
7 16~17 23~25 30~8/4	技術講習会 第72回中学総体 全日本高校選手権大会【男子小林秀峰ベスト8】	小林市 早水公園体育館 愛媛県
8 19 19~21 中止 中止	九州理事長会議(川越代理) 九州ブロック国体 小学生チャレンジ交流大会 第11回宮崎県中学一年生大会	熊本県 熊本県
9 18 中止 24~25	Mリーグ 宮崎県ビーチハンド選手権 日本選手権九州予選会【宮崎フェニックス代表権獲得】	県体育館 沖縄県
10 6~8 1~2 13 23 29~30 30 31	国体視察(川越、岩崎、川野雅) JOC杯九州地区予選 第3回県民総合スポーツ祭実行委員会(川越) Mリーグ 中学校秋季体育大会 Mリーグ コンプライアンス研修会(外園・川越)	栃木県 大分県 県武道館 佐土原体育館 宮崎市総合体育館 綾てるはドーム 宮崎市民文化ホール
11 3・23 12~14 20 19~20 22 26~27	県小学生大会(九州大会予選) 高校新人大会 Mリーグ 南九州大会(中学)【女子 優勝 三松中学校】 宮崎県スポーツ協会 会計監査(外園) 南九州大会(高校)、審判、TO研修会	早水公園体育館 早水公園体育館他 延岡市民体育館 鹿児島県 スポーツ指導センター 綾てるはドーム
12 3 7~9 19 24~25	南九州小学生大会【男子優勝 宮崎県U12 6年生】 日本選手権【宮崎フェニックス出場】 宮崎県スポーツ協会ヒアリング(和田、川越) 県高校選抜大会	早水公園体育館 山口県 スポーツ指導センター 綾てるはドーム
1 28~29	県中学生選抜大会	綾てるはドーム
2 3~6 12 18 19 19・25・26 25	九州高校選抜大会【男子 小林秀峰 全国大会出場】 総合選手権 代表者会議(抽選会) 九州審判長会議(岩崎) 全国理事長会議(和田) 第57回県総合選手権 最優秀選手表彰式 【小学生男子：的場 圭吾 小学生女子：遠藤 日菜子】 【中学生男子：山下 心琉 中学生女子：八幡 結音】 【高校生男子：村永 悠生 高校生女子：猪俣 あすか】	佐賀県 青少年プラザ オンライン オンライン 綾てるはドーム 綾てるはドーム
3 4 5 9 11~12 17~19 21 24~29 26~29	九州理事会(和田) 全日本大会審判研修会(岩崎) 全国指導委員会(和田、川野敦) UMKスポーツフェスタ 九州中学生選抜 常任理事会 全国高校選抜大会 春の全国中学生選手権大会	佐賀県 オンライン オンライン 県体育館 沖縄県 宮崎市総合体育館 三重県 水見市

宮崎県ハンドボール協会規約（案）

第1章 総則

（名称および事務所）

第1条 本協会は、宮崎県ハンドボール協会（以下、本会という）という。

第2条 本会は、事務所を事務局所在地に置く。

第2章 目的及び事業

（目的）

第3条 本会は、宮崎県におけるハンドボール競技に関することを統轄し、これを代表する団体であってハンドボール競技の健全なる普及・発展を図ることを目的とする。

（事業）

第4条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- （1）ハンドボール競技に関する基本方針を確立し、その普及・啓発を図ること。
- （2）各種競技会の開催及びその援助をすること。
- （3）ハンドボール競技に関する調査、研究及び講習会、研修会を開催し、競技力の向上を図ること。
- （4）支部組織の強化発展とその施策の協力に関すること。
- （5）その他本会の目的達成に必要な事業。

第3章 資産及び会計

（資産の構成）

第5条 本会の資産は、次のとおりとする。

- （1）負担金
- （2）事業に伴う収入
- （3）補助金及び寄付金品
- （4）その他の収入

（負担金）

第6条 本会登録団体は、別に定める負担金を納入しなければならない。

（経費の支弁）

第7条 本会の事業に要する経費は、収入等運用財産をもって支弁する。

（事業計画及び予算）

第8条 本会の事業計画及びこれに伴う予算は、毎年会計年度開始前に会長が編成し、常任理事会の議決を経て理事会の承認を得なければならない。

(事業報告及び決算)

第9条 本会の収支決算は、毎年会計年度終了1ヶ月以内に会長が作成し、事業報告書とともに監事の意見をつけ、常任理事会の議決を経て理事会の承認を得なければならない。

2 本会の収支決算に剰余金があるときは、常任理事会の議決を経て翌年度に繰り越すものとする。

(会計年度)

第10条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第4章 組織

(組織)

第11条 本会は、本会の目的に賛同する宮崎県における支部（市郡協会）、一般、大学、高専・高校、中学校、小学校の登録団体をもって組織する。

第5章 役員

(役員)

第12条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 顧問・参与 若干名
- (4) 理事長 1名
- (5) 副理事長 2名以内
- (6) 事務局長 1名
- (7) 常任理事 若干名
- (8) 理事 若干名
- (9) 専門部長 各1名
- (10) 委員長 各1名
- (11) 監事 2名

(会長及び副会長)

第13条 会長及び副会長は、常任理事の中から理事会で推挙する。

2 会長は、本会を代表し会務を統轄する。

3 副会長は、会長を補佐し会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名した順位によりその職務を代行する。

(理事長及び副理事長)

第14条 理事長及び副理事長は、常任理事会において常任理事の互選で定める。

2 理事長は、会長の命により日常の会務を掌理する。

3 副理事長は、理事長を補佐し理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときはその職務を代行する。

(常任理事)

第15条 常任理事は、理事及び専門委員の中から選任する。

- 2 常任理事は、常任理事会を執行して本会の会務を議決し執行する。

(理事)

- 第16条 理事は、支部（市郡協会）及び登録団体より選任する。
- 2 会長は、前項のほか学識経験者若干名を理事として指名することができる。
 - 3 理事は、理事会を組織して会長の諮問に応じ必要な事項を審議する。

(専門部長)

- 第17条 専門部長は、理事長及び副理事長が兼務する。
- 2 専門部長は、専門部会を代表し会務を統轄する。
 - 3 本会の会務を統括するため、総務部長、普及・強化部長、競技部長を置く。

(委員長)

- 第18条 委員長は、理事及び専門委員の中から選任する。
- 2 専門部長の基に各委員会を設置し、各委員会には委員長を置く。
 - 3 委員長は、専門部長を補佐し、委員会を代表し会を統括する。
 - 4 本会の会務を統括するため、総務委員長、広報記録委員長、地区協会委員長、指導普及強化委員長、審判委員長、競技委員長、TO委員長を置く。

(監事)

- 第19条 監事は、理事会の承認を得て会長が委嘱する。
- 2 監事は、定時会計監査を毎年会計年度終了後に行い、その結果を常任理事会、理事会において報告するものとする。

(事務局長)

- 第20条 本会の事務を処理するため、事務局長を置く。
- 2 事務局長は、会長の命をうけ事務を処理する。

(名誉会長、顧問・参与)

- 第21条 本会に名誉会長（1名）、顧問・参与（若干名）を置くことができる。
- 2 名誉会長は長きにわたり会長を務めその功績顕著なるものを理事会の推薦に基づき会長が委嘱する。
 - 3 名誉会長は会長の諮問に応じ意見を述べる事が出来る。
 - 4 顧問・参与は本会の会長、副会長であったもの、及び本会に寄与するものの中から理事会の推薦に基づき会長が委嘱する。
 - 5 顧問・参与は会長の諮問に応じて意見を述べる事が出来る。

(役員の任期)

- 第22条 役員の任期は、2ヶ年とし再任を妨げない。
- 2 役員に欠員又は増員の必要性が生じた場合は、役員の補充を行う。増員役員の任期は、他の役員の残任期間とし、補欠役員の任期は前任者の残任期間とする。
 - 3 役員は、任期満了後でも後任者が就任するまでは、なおその職務を行う。

(解任)

- 第23条 役員は、本会の役員としてふさわしくない行為のあった場合、又は特別の事情がある場合に

は、常任理事会の議決を経て理事会の承認を得て解任することができる。

第6章 会議

(会議)

第24条 会議は、常任理事会、理事会とし会長が招集する。

- 2 常任理事会の議長は、会長もしくは理事長とし、理事会の議長は会長がこれを務める。
- 3 常任理事会、理事会は、それぞれ2分の1（委任状を含む）以上の出席がなければ会議を開き議決することは出来ない。
- 4 常任理事、又は理事の3分の1以上から会議の目的事項を示して請求のあったときには、会長はすみやかに常任理事会及び理事会を招集しなければならない。
- 5 監事、専門部長、委員長、事務局長は、常任理事会及び理事会に出席して意見を述べることができる。

(議決)

第25条 常任理事会及び理事会の議事は、それぞれ出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

- 2 規約改正については、理事会の3分の2以上の承認がなければならない。

(常任理事会)

第26条 常任理事会は、次の事項を議決する。

- (1) 理事会の審議に付する事項。
 - (2) 施行規程の制度及び改廃に関する事項。
 - (3) その他事業遂行上重要な事項。
- 2 会長が常任理事会を招集する余裕のない緊急を要する事項については、常任理事会の議決を経ないでこれを処理することができる。ただし、次の常任理事会で承認を得なければならない。

(理事会)

第27条 理事会は、次の事項を審議する。

- (1) 事業計画及び収支予算の承認。
- (2) 事業報告及び収支決算の承認。
- (3) その他、会長が付議する事項。

(議事録)

第28条 すべての会議には、議事録を作成し、議長及び出席代表2名が署名捺印のうえこれを保存する。

第7章 専門部及び委員会

(専門部及び委員会)

第29条 本会規約第4条に定める事業を遂行するために必要な専門部及び委員会を設けることが出来る。

- 2 専門部及び委員会の目的及びその他必要な事項については、別に定める。

第8章 事務局

(事務局)

第30条 本会の事務を処理するために事務局を設け、事務局長を置く。

2 事務局の運営管理等に関する事項は別に定める。

第9章 賞

第31条 本会は、本県ハンドボール競技の向上発展に関し特に顕著な業績を収めた小学生・中学生・高校生に対して優秀選手賞を設立し、これを顕彰することを目的とする。

2 表彰規定については、別に定める。

附 則

第1条 この規約は、昭和39年3月21日より施行する。

昭和47年	4月	1日	一部改正
昭和50年	4月	1日	一部改正
昭和55年	4月	1日	一部改正
平成9年	4月	12日	一部改正
平成13年	4月	7日	一部改正
平成21年	4月	4日	一部改正
平成29年	4月	16日	一部改正
令和3年	4月	4日	一部改正
<u>令和5年</u>	<u>4月</u>	<u>日</u>	<u>一部改正</u>

令和5年度宮崎県ハンドボール協会行事予定表

県内			九州			全国			
月	日	事業	会場	日	事業	会場	日	事業	会場
4	16	理事会	清武町文化会館						
	23	小学校役員会	宮崎市	30~4	九州学生リーグ・春季	福岡			
5	9	高体連専門委員会・監督会	交流セ						
	27~30	高校総体	てるはD他	12~14	九州一般選手権・女子クラブ選手権	県・市総合	20~21	全国中学生クラブカップ	福岡
6	3~4	県民総合スポーツ祭	てるはD	16	理事長会議	大分	10	日本協会理事会	
	10~11	スタートコーチ講習会	小林市	16~18	全九州高校	大分	6~11	全日本社会人選手権	福井
	10~11	ヒュンメルクリニック	都城市				23~25	NTAナショナルトレーニングアカデミー	愛知
	17~18	小学生新人(全国予選)	市総合				25	定時評議員会	
	22	中体連専門部会	県武道館						
7	6	高体連専門委員会	交流セ	1~2	九州高専大会	長崎	1	日本協会理事会	
	22~24	県中学校総体					1~2	全国クラブ選手権 西地区大会	山口
	30	スポーツ少年団中央大会	県体育館				26~31	全日本高校選手権大会	北海道
8	10~11	1年生大会	延岡	8~10	九州中学生	沖縄	3~6	全国小学生大会	京都
	19~20	宮崎県小学生チャレンジ交流大会	てるはD	18	九州理事長会議	大分	10~14	西日本学生選手権	愛知
	26~27	県中学1年生大会	てるはD	19~20	九州ブロック国体	大分	9~12	J-オープン	佐賀
				28~9/1	九州学生リーグ・秋季	熊本	11~13	東日本学生選手権	福井
						17~26	女子オリンピックアジア予選	広島	
						20~23	全国中学校大会	徳島	
						24~29	日韓中ジュニア交流	和歌山	
						30~9/1	全国高専大会	東京	
9				23~25	日本選手権九州ブロック大会	福岡			
	23~24	国スポ強化合同練習会	県体育館	30~10/1	U15ジュニアセレクトカップ九州予選	長崎	16~18	NTAナショナルトレーニングアカデミー	愛知
						23~10/8	アジア競技大会	中国	
10	8	Mリーグ	県体育館				7	全国理事長会議	鹿児島
	16	第2回中体連専門部会	県武道館				8~12	国民体育大会	鹿児島
	28~29	中学校秋季体育大会	てるはD	20~22	サニックスカップ	福岡	18~28	男子オリンピックアジア予選	カタール
11	3	小学生大会(九州予選)	市総合				4~8	全日本学生選手権	北海道
	11~12	南九州大会予選(高校)	てるはD	18~19	南九州大会(中学の部)	てるはD			
	23	小学生大会(九州予選)	未定	未定	南九州大会(高校の部)	鹿児島	24~26	第1回NTSセントラートレーニング(U15)	愛知
				26	南九州クラブリーグ	鹿児島	29~12/17	女子世界選手権	デンマーク等
12	2~3	高等学校等トップ選手強化事業	てるはD				13~17	日本選手権(男子)	宮城
	10	Mリーグ	県体育館				23~27	U15ジュニアセレクトカップ	徳島
	17	Mリーグ	てるはD				24~28	女子日本選手権	岩手
	23~25	高校新人	てるはD	22~24	九州小学生親善	鹿児島			
1	14	Mリーグ	県体育館	6	第2回南九州小学生大会	始良体育館	6~8	第2回NTSセントラートレーニング(U15)	愛知
	26	高体連専門委員会	交流セ	6	九州高校選抜抽選会	長崎			
	27~28	中学生選抜	てるはD						
2	未定	総合選手権・代表者会議	未定	2~5	九州高校選抜	長崎	10	日本協会理事会	
				17	九州審判長会議	未定	11	全国理事長会	
	18-24-25	総合選手権	てるはD	17or18	審判研修会	未定	9~11	全日本社会人チャレンジ'2024	福井
3	未定	審判員講習会	未定	2	理事会(中学生選抜、九州選手権抽選)	佐賀	10~12	NTAナショナルトレーニングアカデミー	愛知
	21	常任理事会	未定	15~17	九州中学生選抜	佐賀	23~27	春の全国中学生選手権	富山
						24~29	全国高校選抜大会	鳥取県 女三重	

※令和6年度九州ブロック大会開催予定

	競技名	地域クラブ活動の参加		団体（リレ）出場の条件	地域クラブ活動の協会・連盟登録の義務	指導者の公認資格の有無	その他の条件
		個人	団体（リレ）				
5	ハンドボール		○		日本協会へのチーム・個人登録	どちらでも○	<ul style="list-style-type: none"> ●日本協会が主催する全国クラブ大会および予選大会（地区大会含む）に参加した場合は中学校体育連盟が主催する全国中学校体育大会および予選大会（地区大会含む）への出場は認めない。 ●合同チームについては、宮崎県中学校体育連盟の規定に準ずる。
6	軟式野球		○		都道府県軟式野球連盟への加盟	<ul style="list-style-type: none"> ①日本スポーツ協会公認コーチ1（軟式野球） ②日本スポーツ協会公認コーチ3（軟式野球） ③BFJ公認野球指導者基礎 I（U15） ※監督の保有を必須とするが、保有していない場合には、代表者、コーチのうち最低1名の保有を必須とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●大会運営、審判員派遣の依頼に対応できる人員を確保している。 ●審判員については、「一般財団法人全日本野球協会 アマチュア野球規則委員会公認3級審判員」以上の保有を必須とする。
7	体操	○	△	団体参加の場合はすべての選手が同一校に在籍していること。	都道府県競技団体に登録されていること。	どちらでも○	<ul style="list-style-type: none"> ●都道府県にブロック大会団体出場枠が複数与えられている場合、少なくとも1枠は学校登録団体とする。学校登録団体がいない場合には地域クラブ活動登録団体から補充する。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●中体連地区大会を別競技で出場して敗退後の登録は認めない。
8	新体操	○	△	団体参加の場合はすべての選手が同一校に在籍していること	継続的に活動し、日本体操協会の所属団体及び指導者の登録をしている。	日本体操協会への指導者登録	<ul style="list-style-type: none"> ●監督及び選手は一人につき一所属とする。 ●団体と個人で異なる所属からの出場はできない。 ●中体連地区大会を別競技で出場して敗退後の登録は認めない。
9	バレーボール		○	中学校の部活動チームが大会に参加する場合、その中学校の生徒のみで編成された地域クラブ活動の参加は認めない。	JVA-MRSへのチーム・個人登録	JSP0公認指導者資格（成人） ※R7.3.31までは取得期間	<ul style="list-style-type: none"> ●募集要項やホームページ等で公募していること。 ●年間を通じて、日常持続的週単位に練習している場所と所在地が一致していること。 ●チームや団体として規約があること。 ●各種大会に大会役員として派遣できる指導者がいること。

令和5年度宮崎県中学校総合体育大会への参加について

宮崎県中学校体育連盟

令和5年度から全国中学校体育大会及び九州中学校体育大会に地域クラブ活動が参加できるようになります。それに伴い、宮崎県中学校総合体育大会にも同様に参加できるようになります。ただし、競技ごとに参加条件や参加制限の違い、事務手続きの違いがありますので、参加する際には注意が必要です。

下記の内容を確認の上、令和5年度の活動に備えてください。

記

- ① 地域クラブ活動が参加できるのは、総合体育大会だけです。宮崎県秋季体育大会は、これまで通り学校単位で参加することはできません。
- ② 地域クラブ活動の出場は、県大会からとします。バレーボール・軟式野球・ソフトテニス・卓球・サッカー・バスケットボール・柔道・剣道・ソフトボール・バドミントン・ハンドボール・テニス・空手道は、参加条件・参加制限のもと、競技団体からの推薦を受けたチームのみの出場となります。陸上・水泳・弓道・相撲・体操・新体操・ジュニア・ラグビー・駅伝は、参加条件・参加制限のもと、各チームからの出場となります。
- ③ 各競技の参加条件・参加制限は、開催基準・各競技細則一覧をご覧ください。(県中体連ホームページ参照)
- ④ バレーボール・軟式野球・ソフトテニス・卓球・サッカー・バスケットボール・柔道・剣道・ソフトボール・バドミントン・ハンドボール・テニス・空手道における地域クラブ活動の参加チーム・個人は、参加条件・参加制限のもと、競技団体から推薦書を県中体連に提出してもらいます。(4/24まで)その推薦書を受け、各学校への生徒が地域クラブ活動として出場するの通知します。その後、地域クラブ活動の出場チーム内で参加確認書を保護者承諾のもととり、在籍校へ提出してもらいます。(5月1日まで)それを受けて、各学校は地区大会の申込を行います。(県中体連ホームページ参照)
- ⑤ 陸上・水泳・弓道・相撲・体操・新体操・ジュニア・ラグビーにおける地域クラブ活動の参加チーム・個人は、地域クラブ活動の出場チーム内で参加確認書を保護者承諾のもととり、在籍校へ提出してもらいます。(5月1日まで)それを受けて、各学校は地区大会の申込を行います。(県中体連ホームページ参照)
- ⑥ 駅伝における地域クラブ活動の参加チームは、地域クラブ活動の出場チーム内で参加確認書を保護者承諾のもととり、在籍校へ提出してもらいます。(9/27まで)それを受けて、各学校は地区駅伝大会の申込を行います。(県中体連ホームページ参照)
- ⑦ 地域クラブ活動の出場チーム・個人は、県中体連事務局へ直接申込となっていますので、各競技要項を確認の上、手続きを行ってください。(県中体連ホームページ参照)
- ⑧ 新たな取組の初年度になりますので、出てきた課題を整理しながら規定等が変化していくことが考えられます。県中体連ホームページで更新したり通知文を出したりして最新の情報をお知らせしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
- ⑨ その他問い合わせは、地域クラブ代表者または学校代表者より県中体連事務局までお願いいたします。

(文書取扱)

宮崎県中学校体育連盟事務局 (島田)
TEL 0985-27-8161
FAX 0985-29-0021

10 参加制限

【中学校単位での参加】

(1) 団体競技・種目の参加チーム数は以下の表のとおりとする。

競技名	各地区中体連	備 考
バレーボール	地区代表・比例代表制	
軟式野球	地区代表・比例代表制	
ソフトテニス	地区代表・比例代表制	
卓 球	地区代表・比例代表制	
サッカー	地区代表・比例代表制	
バスケットボール	地区代表・比例代表制	
柔 道(男子)	地区代表・比例代表制	男子のみ
剣 道	地区代表・比例代表制	
ソフトボール(女子)	地区代表・比例代表制	女子のみ
バドミントン	地区代表・比例代表制	
駅伝競走	地区代表・比例代表制	
柔 道(女子)	学 校 単 位 参 加	各学校出場枠 1 チーム
ソフトボール(男子)		
ジュニア・ラグビー		
弓 道		
新体操・体操競技		各学校出場枠男女各 1 チーム
ハンドボール		
テニス		
空手道		
相 撲		各学校出場枠 3 チーム

(2) 個人競技・種目の参加数は、以下のとおりとする。

競技名	各地区中体連	宮崎地区中体連	備 考
陸上競技	・指定出場枠 ・参加標準記録突破		・1種目1校2名以内 ・一人2種目以内(リレーを除く)
水泳競技	各種目別4名以内	各種目別8名以内	・1種目1校3名以内 ・一人2種目以内 (リレー・メドレーリレーを除く)
ソフトテニス	比例代表制		男女各
卓 球	比例代表制		男女各
弓 道	団体戦出場者及び団体戦に出場できない学校の男女各1名		
柔 道(男子)	比例代表制		
柔 道(女子)	学校単位参加		各階級参加数制限なし
剣 道	比例代表制		男女各
相 撲	各学校12名以内		
体操競技	各学校男女各5名以内		
新体操	各学校男女各5名以内		
バドミントン	比例代表制		男女各(シングルス・ダブルスとも)
テニス	各学校シングルス3名以内、ダブルス5組以内		男女共(※シングルス・ダブルスは兼ねない)
空手道	各学校男女各8名以内		組手・形

【地域クラブ活動での参加】

団体・個人の参加チーム数は以下の表のとおりとする。

競技名	団体	個人
陸上競技	・各クラブ1人2種目以内および1種目につき2名以内。ただし、参加標準記録を突破していること。 ・リレーは各クラブ男女各1チーム。ただし、登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限る。	
水泳競技	・各クラブ1人2種目以内および1種目につき3名以内。 ・リレーは各クラブ男女各1チーム。(フリーリレー・メドレーリレーともに)	
バレーボール	男女各1チーム	
軟式野球	1チーム	
ソフトテニス	男女各1チーム	男女各2ペア
卓球	男女各1チーム	男女各2名
弓道	各道場男女各1チーム	各道場男女各1名(団体の編成ができない場合のみ)
サッカー	1チーム	
バスケットボール	男女各1チーム	
柔道	男女各1チーム	各階級男女各1名
剣道	男女各1チーム	男女各2名
相撲	各道場3チーム	各道場12名
体操	各クラブ男女各1チーム (登録メンバーは同一学校)	各クラブ男女各5名
新体操	各クラブ男女各1チーム (登録メンバーは同一学校)	各クラブ男女各5名
ソフトボール	男女各1チーム	
バドミントン	男女各1チーム	ダブルス：男女各2ペア シングルス：男女各2名
ハンドボール	男女各1チーム	
ジュニア・ラグビー	各クラブ1チーム	
テニス	男女各1チーム (登録メンバーは同一学校)	ダブルス：男女各2ペア (登録メンバーは同一学校) シングルス：男女各2名
空手道	組手・形ともに男女各1チーム	組手・形ともに男女各2名
駅伝競走	各クラブ男女各1チーム。ただし、登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限る。	

11 大会実施要項の作成

- (1) 大会要項は各競技専門部で作成し、評議員会で決定する。
- (2) 大会要項は具体的であり、いずれの人にも理解できるようにする。
- (3) 大会要項は事務局で一括印刷し、各学校及び関係機関・団体に配付する。

12 大会役員 別に定める。

13 参加申し込み

【中学校単位での参加】

- (1) 大会要項規定により参加資格を得たチーム及び個人は、所定の参加申し込み用紙に当該学校長の承認を得て、各地区中体連会長に3部提出する。
- (2) 提出を受けた各地区中体連は、競技ごとに取りまとめ、署名捺印し、所定の期日までに2部を宮崎県中学校体育連盟事務局に提出する。
- (3) 申し込み締切後の選手及び監督等の変更については、所定の変更届によって監督会を最終とし変更することができる。
- (4) 九州大会・全国大会の出場権を得ても、大会への出場ができないことが予めわかっている場合は申込時に申し出ること。

【地域クラブ活動での参加】

- (1) 大会要項規定により参加資格を得たチーム及び個人は、所定の参加申し込み用紙に代表者の承認を得て、県中体連会長に2部提出する。参加料については指定口座に振り込むこと。

- (2) 申し込み締切後の選手及び監督等の変更については、所定の変更届によって監督会を最終とし変更することができる。
- (3) 九州大会・全国大会の出場権を得ても、大会への出場ができないことが予めわかっている場合は申込時に申し出ること。

14 表 彰

- (1) 団体競技優勝チームには優勝旗及び賞状を、2位～3位には賞状を授与する。但し、決勝リーグを実施する競技は4位まで表彰できる。
- (2) 団体競技1位～3位入賞チーム登録全選手に賞状を授与する。但し、決勝リーグを実施する競技は4位まで表彰できる。
- (3) 個人戦1位～3位選手に賞状を授与する。

15 組 合 せ

- (1) 宮崎県中学校総合体育大会の組合せは、オープン抽選を原則とする。但し、団体戦でシード制を導入する場合は、宮崎県中学校秋季体育大会1位・2位地区の代表校及び県中学校体育連盟競技専門部で検討・承認した（地域クラブ活動を含む）2チーム計4チームまでをシードできる。尚、シード順位については、競技専門部及び理事会で検討し決定する。
- (2) 個人戦でシード制を導入する場合は、九州中学校体育大会の参加数までとする。

16 そ の 他

【中学校単位での参加】

- (1) 学校単位参加とは、地区代表制でなく、各学校単位で県大会に参加できることを意味する。
- (2) 団体戦及び個人戦の比例代表枠の基準は、地区大会団体戦参加校数による。
- (3) 学校が統合された場合、団体戦及び個人戦の比例代表枠の基準は、該当地区の前年度地区秋季大会団体戦参加校数による。

【地域クラブ活動での参加】

- (1) 責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険（スポーツ安全保険）等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- (2) 県中体連の開催基準および出場競技要項等に従い、大会の円滑な運営に協力すること。
- (3) 大会参加申込に当たっては、宮崎県中学校体育連盟ホームページを参照すること。

成果

- ・大きな怪我や事故なく終わることができた。
- ・かわにしスポーツ様に大会の副賞を出していただいたことで、優勝、準優勝へのモチベーションが上がったと感じた。
- ・かわにしスポーツの出店に多くの選手が購入していた。学生のシューズ試着が多かったらしい。
- ・審判を審判登録者に吹いてもらうことで、競技規則に則り試合を運用できた。また、学生審判にも笛の機会を与えることができ、将来に向けて技術向上につながった。

課題

○大会前

- ・前回大会に比べて参加チームが少なくなった。特に高校の参加が少なく、大会日程がテスト期間とかぶっていることが参加できない理由になっていると考える。

○要項

- ・背番号の変更をいかなる場合も認めないとしているが、本来の競技規則では、出血等での理由では変更は認めているため、要項の変更が必要である。
- ・タイムアウトも準決勝から認めていたが、1回戦からタイムアウトがあっても良いのではないかと感じた。
- ・3日目、男子準決勝と女子決勝の間に時間を開けずに実施したが、選手や審判のことを考えると、30～45分くらい時間を空けた方がいいのではないかと感じた。
- ・追加締切後の選手の追加が多く、今大会はべ切後も追加を認めた。保険料の関係もあるが、来年度、追加を認めるか考えていきたい。
- ・参加料についても参加料が高いという意見が出ているため検討していく必要がある。

○大会当日

- ・準備を指定のチームで行うことにしているが、準備をせず見ているチームや、集合時間に来ていないチームが見られた。フェニックスや小林秀峰高校に手伝ってもらい準備をすることができたが、全チームでの運営になっているため準備への協力徹底していきたい。
- ・帯同審判への謝金を払っているが、帯同審判へ謝金は必要ないのではないかと意見をいただいているので、審判部で検討が必要。
- ・勝ち上がったチームが参加人数不足という理由で棄権となった。参加する段階で最終日まで参加するという誓約書などして対応していきたい。
- ・スコアシートの未記入のチームが多く、スコアが試合後にわからないということが多くあった。スコアシートの記入方法への伝達や補助が必要。（特に社会人チーム）
- ・賞状の準備ができていなかった。来年度は事前に準備する

その他

- ・専門部員の当日の協力が少ない。今回は、フェニックスの宮田さんや宮一会の小松さんが協力してくれたのでなんとか運営することができた。また、フェニックスも受付や準備等、積極的に動いてくれたのも助かった。
- ・私が初めての運営ということもあり、誰に何を振っていいかわからず、うまく運営できなかった。棄権チームへの対応も私自身が慌ててしまったため、宮一会にもイライラさせる結果になった。

大会はなんとか終わることができたが、来年度は今大会の反省を活かし、運営していきたい。また、専門部の協力が不可欠なため、専門部の大会当日の参加を呼びかけ、運営に携わってもらいたい。

- 主催 (公財) 日本ハンドボール協会
 共催 (公財) 全国高等学校体育連盟
 後援 スポーツ庁、大分県、大分県教育委員会、(公財) 大分県スポーツ協会
 大分県高等学校体育連盟
 大分市、大分市教育委員会、大分市体育協会
 大分合同新聞社、
 TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、OBS大分放送、NHK大分放送局
- 主管 (公財) 全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部
 大分県ハンドボール協会、大分県高等学校体育連盟ハンドボール専門部
- オフィシャルパートナー ○○○○
 大会冠スポンサー ○○○○
 特別協賛 ○○○○
 協賛 ○○○○

1 期 日

- (1) 代表者会議 令和7年3月23日(日) 15:00
 (2) 開会式 令和7年3月23日(日) 16:00
 (3) 競技 令和7年3月24日(月)～3月29日(土) 6日間
 (4) 閉会式 令和7年3月29日(土) 競技終了後

2 会 場

- レゾナック武道スポーツセンターメイン競技場 (40m×20m×2面)
 〒870-0126 大分県大分市大字横尾1351番地 TEL 097-520-0800
- サイクルショップコダマ大洲アリーナ (40m×20m×1面)
 〒870-0908 大分県大分市青葉町1番地 TEL 097-551-1511
- 大分県立大分舞鶴高等学校多目的競技場 (40m×20m×1面)
 〒870-0938 大分県大分市今津留1-19-1 TEL 097-558-2268
- 大分県立大分鶴崎高等学校多目的競技場 (40m×20m×1面)
 〒870-0104 大分県大分市南鶴崎3丁目5番1号 TEL 097-527-2166
- コンパルホール (40m×20m×1面)
 〒870-0021 大分県大分市府内町5-38 TEL 097-538-3700

3 競技日程

期 日	種 別	会 場	試 合 数
3月24日(月)	1回戦	レゾナック武道スポーツセンター 2面 サイクルショップコダマ大洲アリーナ 1面 コンパルホール 1面	男女各9試合

3月25日(火)	2回戦	レゾナック武道スポーツセンター 2面 サイクルショップコダマ大洲アリーナ 1面 コンパルホール 1面 大分舞鶴高校多目的競技場 1面 大分鶴崎高校多目的競技場 1面	男女各16試合
3月26日(水)	3回戦	レゾナック武道スポーツセンター 2面 サイクルショップコダマ大洲アリーナ 1面 コンパルホール 1面	男女各8試合
3月27日(木)	準々決勝	レゾナック武道スポーツセンター 2面	男女各4試合
3月28日(金)	準決勝	レゾナック武道スポーツセンター 1面	男女各2試合
3月29日(土)	決勝	レゾナック武道スポーツセンター 1面	男女各1試合

4 競技規則 2024年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則による。

5 競技方法 トーナメント方式 3位決定戦は行わない。

6 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
- (2) 各都道府県において(公財)日本ハンドボール協会に加盟登録された高等学校体育連盟加盟校の在学生徒であること。
- (3) 選手は、令和6年4月以降該当学校に在学しており、平成18年4月2日以降の出生の者で、第3学年は除く。但し、特例として中国等帰国生徒については、年齢制限を適用しない。
- (4) 転校後6ヶ月未満の生徒の参加を認めない。(中国等帰国生徒もこれに準ずる)
但し、一家転住等の理由によりやむを得ない者は、都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。外国人留学生の参加については、大会登録選手16名のうち2名までとし、競技出場は7名中1名までとする。
- (5) 同一学年での出場は、一回限りとする。
- (6) チームを編成する場合は、全日制課程の生徒と定時制課程の生徒との混成は認めない。
- (7) 出場する選手は予め健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (8) 2024年度に(公財)日本ハンドボール協会に登録されたチームで、各ブロックの選考会を経て代表権を得たチームとする。
- (9) 参加資格の特例
上記(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、(公財)都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途定める規定に従い大会参加を認める。

《大会参加資格の別途に定める規定》

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び135条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の要因を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件

第27回ジャパンオープンハンドボールトーナメント

(Japan Open Handball Tournament)

【鹿児島大会実施要項】

- 1 主催 (公財) 日本ハンドボール協会、全日本社会人ハンドボール連盟
- 2 主管 鹿児島県ハンドボール協会
- 3 後援 **鹿児島県、(公財) 鹿児島市スポーツ振興協会、霧島市、霧島市教育委員会、始良市、始良市教育委員会**
- 4 期日 令和4年8月10日(水)～8月13日(土)
- 5 会場 吉田文化体育センター 鹿児島県鹿児島市本城町46 TEL099-294-4477
 ビーラインスポーツパーク始良 鹿児島県始良市平松2392 TEL0995-66-4815
 国分体育館 鹿児島県霧島市国分清水309 TEL0995-46-4399
 牧園アリーナ 鹿児島県霧島市宿窪田2992 TEL0995-76-2500
- 6 種別 男子の部/女子の部
- 7 参加資格

- (1) 令和4年度(公財)日本ハンドボール協会に、年度当初「一般A」に登録された単独チーム及び個人とする。大会申込み締切後の追加・移籍での出場は認められない。また、日本ハンドボールリーグ(「一般L」登録)・全日本学生ハンドボール連盟・(公財)全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部・全国高専ハンドボール連盟に登録されたチーム及び個人の出場はできない。
- (2) 参加チームは、各地区(ブロック)の予選を通過したチーム、又は地区の推薦を受けたチームとし、開催県は男女1チームの出場を認める。
- (3) 中学生以下の出場は認めない。
- (4) 各ブロックの出場割当数は以下のとおりとする。

地区	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催県	計
男子	1	5	6	2	4	3	4	2	4	1	32
女子	1	2	3	2	1	2	1	1	2	1	16

(留意事項)

- ① 不参加ブロックや不参加チームがあった場合の出場割り当ては、まず関東ブロックで対応する。その後の対応については別途取り決める。
- ② 各都道府県・ブロック予選に当たっての選手登録確認は、それぞれの主管協会が責任を持って行うこと。また、ブロック予選は各都道府県代表2チーム以上が出場することによって実施されることが望ましい。
- 8 参加人員 登録は、役員6名以内・選手16名以内の合計22名以内とする。
 ただし、監督が選手を兼ねる場合は選手としても参加申込みをすること。

- 大会エントリー・・・役員6名以内・選手16名以内
 ○ゲームエントリー・・・役員4名以内・選手16名以内

9 参加申込

- (1) 大会参加申込みは(公財)日本ハンドボール協会のWeb登録システム(マイハンドボール)により参加申込を行うこと。 <https://handball.sportscom.jp/#/> 申込手順は、マイハンドボールの本イベントページに6月上旬より掲載するので

ダウンロードして確認すること。

チーム申込と参加選手申し込みの後、システムから出力する Excel の申込書を、下記の(ア)(イ)それぞれに E-Mail で送ること。

- (2) チーム申込と参加選手申込期限は、**7月1日(木) 23:59**とする。
- (3) 参加選手申込書の番号は、試合時ユニフォームの背番号と同一にすること。
なお、ユニフォーム色の変更期限は、代表者会議前日までとする。その際、下記(ア)(イ)宛てに届けなければならない。
- (4) 申込締切後の役員・選手の変更は、死亡・疾病・障害等の特別な場合のみ認める。
特別な事情で変更する場合は、それを証明する書類を添付した文書を下記(ア)(イ)宛てに届けること。届出の手続きは、代表者会議の前日(8月9日 12:00)までに完了させること。原本は(ア)のみで良い。

<申込送付先>

(ア)「(公財)日本ハンドボール協会」宛

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 6階

TEL: 03-6709-8940 FAX: 03-6709-8941

E-Mail: info@japan-handball.jp

(イ)「鹿児島県ハンドボール協会事務局長 海江田貴嗣」宛

〒899-6507 鹿児島県霧島市牧園町宿窪田330-5

TEL: 0995-76-0039 FAX: 0995-76-0040 携帯 090-5283-9123

E-Mail: kaieda_taka@yahoo.co.jp

10 参加料 1チーム30,000円

- (1) **令和4年7月2日(金)**までに下記口座に振り込むこと。

<振込先>

金融機関：鹿児島銀行 郡山支店 普通口座 No. 143739

口座名義：鹿児島県ハンドボール協会 会長 藤田幸二 (フジタコウジ)

※振込手数料は各チームでの負担をお願い致します。

- (2) 振込名は先頭にチーム名をつけること。
- (3) 口座振込済みを証明する書類(各金融機関発行の振込金受領書等)は、大会が終了するまで保管すること。

11 競技規則 令和4年度「(公財)日本ハンドボール協会競技規則」による。

12 競技方法 トーナメント方式による。3位決定戦を実施する。

13 組合せ抽選

(1) 日時 令和4年7月3日(日) 13時30分～

(2) 場所 (公財)日本ハンドボール協会事務局会議室

(3) 方法 (公財)日本ハンドボール協会の責任において抽選する。

抽選結果は、後日、主管協会を通じて各チームに連絡する。

1 4 表彰

- (1) 優勝チームには、(公財)日本ハンドボール協会会長杯(持ち回り)を授与する。
- (2) 第1位から第4位までのチームには、賞状を授与する。
- (3) 第1位から第3位までのチームには、メダルを授与する。

1 5 会議日程

- (1) テクニカルレガート・審判会議
- (2) 代表者会議

※感染症対策のため、いずれの会議も実施しない。

必要事項など直接チーム並びに関係者に通知する。

1 6 開会式

※感染症対策のため、本大会開会式は実施しない。

- 1 7 表彰式 【男子の部】 令和4年8月13日(土) 13時20分～
鹿児島市吉田文化体育センター
- 【女子の部】 令和4年8月13日(土) 13時20分～
霧島市国分体育館

- 1 8 宿泊 宿泊については、大会期間中の宿舎を仮予約してあることから、必ず指定の宿泊取扱い業者を通して申込みをすること。

詳細は、「宿泊・弁当取扱い要項」による。

株式会社TEAM(チーム) 担当者:猪口(イノクチ)・畠(ハタ)

TEL:096-237-6763 FAX:096-237-6764 [mail:yoyaku@k-team.jp](mailto:yoyaku@k-team.jp)

1 9 競技申し合わせ事項

- (1) 同点の場合の延長戦は、準決勝までは第1延長までとし、なお同点の場合は、7mTCで決する。決勝戦は、正規延長戦を行うものとする。
- (2) 背番号は、大会申込書に記載された番号と同一のものを使用する。
- (3) シューズは、体育館履き専用を着用し、屋外履きシューズとの区別をする。
- (4) 試合球は、(公財)日本ハンドボール協会検定球とする。
- (5) 松ヤニ・松ヤニスプレーの使用を認めない。各競技会場では両面テープのみ使用可とする。また、練習球は松ヤニ等の付着していないものを各チームで準備すること。
- (6) 選手・チーム役員は、(公財)日本ハンドボール協会発行の登録証を持参しなければならない。各試合の開始前に登録証で本人であることを確認する。登録証を携帯していない場合は、試合に出場することができない。
- (7) 役員登録している役員がいないチームは、チームタイムアウトを請求することができない。
- (8) ハーフタイムは、15分とする。

2 0 その他の事項

- (1) 各チームの代表者は、競技に使用する全種類のユニフォームを持参の上、オフィシャルミーティングに出席すること。試合前のオフィシャルミーティングにレフェリーがユニフォームの最終決定を行う。
- (2) ユニフォームは、コートプレーヤー・ゴールキーパーそれぞれ2着以上の色の異

なるものを用意すること。なお、短パンの下にサイクリングパンツ及びユニフォームの下にアンダーシャツ等を着用する場合のことなどについては、日本ハンドボール協会「服装や 保護を目的とした装具に関する規定」に則って着用しなければならない。出場チームはそれぞれ確認、規定を遵守の上、参加すること。

- (3) チーム責任者は、大会期間中の選手の行動に関して一切の責任を負うものとする。
- (4) 大会参加チームの役員・選手は、必ず大会前に健康診断を受けて参加するものとし、大会中は健康保険証を持参すること。なお、各チームの選手は、各自スポーツ障害等の保険に加入の上、参加すること。
- (5) 競技中に生じた疾病・障害等については、主催者で応急処置の対応を行うが、その後の責任は一切負わないものとする。
- (6) 開会式には、各チーム代表者2名で必ず参加すること。また、開会式の品位を損なわない服装で参加すること。なお、部旗・所属都道府県協会旗を持参する必要はない。
- (7) 大会期間中に撮影された写真等は、報告書、広報誌、ホームページ等に掲載されることがある。
- (8) 本大会での選手等の計画輸送は、一切行いませんので、各チームにて移動手段の確保をお願いいたします。
- (9) 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- (10) 本大会参加者は、大会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす。
- (11) 未成年者（18歳未満）については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続きに対する親権者からの同意書を作成し、大会に持参すること。検査対象者となったときには提出が求められる。
- (12) 本大会参加者は、本大会で行われるドーピング検査（尿・血液等、検体の種類を問わず）を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき、制裁等を受けることになるので留意すること。
- (13) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容及びドーピング検査については、（公財）日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。
- (14) 本大会は日本協会の定める感染症対策ガイドラインに沿って実施する。感染拡大状況によって、開催地協会と自治体など協議して最終案内を抽選後送付する。
- (15) 本大会の男女1位チームは、日本選手権に日本ハンドボール協会から推薦される。
令和4年度第74回日本選手権大会
男子 2022年12月7日～11日 山口県周南市
女子 2023年1月5日～9日 鹿児島県鹿児島市

第27回ジャパンオーブントーナメント鹿児島大会競技日程

鹿児島市吉田文化体育センター								
競技日程	第1日目		第2日目		第3日目		最終日	
月・日・曜	8月10日(水)		8月11日(木)		8月12日(金)		8月13日(土)	
試合間	45分		45分		20分		45分	
コート	順	男子1回戦	順	男子2回戦	順	男子準々決勝・準決	順	3決・決勝
A	男1	09:30~10:45	男17	09:30~10:45	男25	9:30~10:45	男31	09:30~10:45
	男2	11:30~12:45	男18	11:30~12:45	男26	11:05~12:20	男32	11:30~12:45
	男3	13:30~14:45	男19	13:30~14:45	男27	12:40~13:55		
	男4	15:30~16:45	男20	15:30~16:45	男28	14:15~15:30		
					男29	15:50~17:05		
					男30	17:25~18:40		

ビーラインスポーツパーク始良				
競技日程	第1日目		第2日目	
月・日・曜	8月10日(水)		8月11日(木)	
試合間	45分		45分	
コート	順	男子1回戦	順	男子2回戦
B	男5	09:30~10:45	男21	09:30~10:45
	男6	11:30~12:45	男22	11:30~12:45
	男7	13:30~14:45	男23	13:30~14:45
	男8	15:30~16:45	男24	15:30~16:45

霧島市国分体育館								
競技日程	第1日目		第2日目		第3日目		最終日	
月・日・曜	8月10日(水)		8月11日(木)		8月12日(金)		8月13日(土)	
試合間	45分		45分		20分		45分	
コート	順	男子1回戦	順	女子1回戦	順	女子準々決・準決	順	3決・決勝
C	男9	09:30~10:45	女2	9:30~10:45	女9	9:30~10:45	女15	09:30~10:45
	男10	11:30~12:45	女3	11:30~12:45	女10	11:05~12:20	女16	11:30~12:45
	男11	13:30~14:45	女4	13:30~14:45	女11	12:40~13:55		
	男12	15:30~16:45			女12	14:15~15:30		
					女13	15:50~17:05		
					女14	17:25~18:40		

霧島市牧園アリーナ				
競技日程	第1日目		第2日目	
月・日・曜	8月10日(水)		8月11日(木)	
試合間	45分		45分	
コート	順	男子1回戦	順	女子1回戦
D	男13	09:30~10:45	女5	09:30~10:45
	男14	11:30~12:45	女6	11:30~12:45
	男15	13:30~14:45	女7	13:30~14:45
	男16	15:30~16:45		

第27回ジャパンオープントーナメント鹿児島大会組合せ表

【 男子 の 部 】

A:鹿児島市吉田文化体育センター B:ビーラインスポーツパーク始良 C:霧島市国分体育館 D:霧島市牧園アリーナ

チーム名 (都道府県名)	8月10日(水)	8月11日(木)	8月12日(金)	8月13日(土)	8月12日(金)	8月11日(木)	8月10日(水)	チーム名 (都道府県名)
	1回戦	2回戦	準決勝 準々決勝	決勝 3位決定戦	準決勝 準々決勝	2回戦	1回戦	
HONDA (三重県)	1	A-1 9:30	A-25 9:30	決勝	A-27 12:40	B-21 9:30	C-9 9:30	興南B.I.C (沖縄県)
HC 滋賀 (滋賀県)	2	A-17 9:30						17
白壁クラブ (岩手県)	3	A-2 11:30	A-29 15:50	A-32 11:30	A-30 17:25	B-22 11:30	C-10 11:30	向陵クラブ (富山県)
HC・金沢 (石川県)	4	A-3 13:30						19
甲府クラブ (山梨県)	5	A-3 13:30	A-18 11:30	A-30 17:25	B-22 11:30	C-11 13:30	C-11 13:30	HC岩手 (岩手県)
SFIDA山口 (山口県)	6	A-4 15:30						21
ラーjest (東京都)	7	A-4 15:30	A-19 13:30	A-30 17:25	B-23 13:30	C-12 15:30	C-12 15:30	HC岡山 (岡山県)
UNION大分 (大分県)	8	B-5 9:30						23
大同クラブ (愛知県)	9	B-5 9:30	A-26 11:05	A-31 9:30	A-28 14:15	B-24 15:30	D-13 9:30	宮崎フェニックス (宮崎県)
スワロークラブ (兵庫県)	10	A-19 13:30						25
香川クラブ (香川県)	11	B-6 11:30	A-20 15:30	3位決定戦	A-28 14:15	B-24 15:30	D-14 11:30	HC奈良 (奈良県)
警視庁クラブ (東京都)	12	B-6 11:30						27
HC SUNS (開催地)	13	B-7 13:30	A-20 15:30	A-31 9:30	A-28 14:15	B-24 15:30	D-15 13:30	EHC (愛媛県)
下松クラブ (山口県)	14	A-20 15:30						29
HC青森 (青森県)	15	B-8 15:30	A-20 15:30	A-31 9:30	A-28 14:15	B-24 15:30	D-16 15:30	洛北クラブ (京都府)
HC Wakayama (和歌山県)	16	B-8 15:30						31

第27回ジャパンオープンハンドボールトーナメント組合せ表

【 女子 の 部 】

A: 鹿児島市吉田文化体育センター B: ビーラインスポーツパーク始良 C: 霧島市国分体育館 D: 霧島市牧園アリーナ

チーム名 (都道府県名)	8月11日(木)	8月12日(金)	8月13日(土)	8月12日(金)	8月11日(木)	チーム名 (都道府県名)
	1回戦	準決勝 準々決勝	決勝 3位決定戦	準決勝 準々決勝	1回戦	
1 宜野湾ガスクラブ (沖縄県)		C-9 9:30			D-5 9:30	8 JJ・GANG (福井県)
2 ナデシコクラブ (奈良県)	C-2 9:30			C-11 12:40		9 京都クラブ (京都府)
3 山口銀行YMGUTS (山口県)			決勝		D-6 11:30	10 リスみっばら (岐阜県)
4 氷見クラブ (富山県)	C-3 11:30	C-13 15:50	C-16 11:30	C-14 17:25		11 かながわガピアーノ (神奈川県)
5 メガトンズ (大阪府)					D-7 13:30	12 ninfa・kagoshima (開催地)
6 REDS (埼玉県)		C-10 11:05			C-12 14:15	13 HC 滋賀 (滋賀県)
7 エフトス・ハンズLHC (福岡県)	C-4 13:30		3位決定戦			14 オレンジクラブ (栃木県)
			C-15 9:30			

〔14〕 ハンドボール競技

1 期 日 2022年10月6日(木)から10月10日(月)まで(5日間)

種 別	10月6日(木)	10月7日(金)	10月8日(土)	10月9日(日)	10月10日(月)
成年男子	1 回 戦	準々決勝	準 決 勝	3位決定戦 決 勝	
成年女子	1 回 戦	2 回 戦	準々決勝	準 決 勝	3位決定戦 決 勝
少年男子	1 回 戦	2 回 戦	準々決勝	準 決 勝	3位決定戦 決 勝
少年女子	1 回 戦	準々決勝	準 決 勝	3位決定戦 決 勝	

2 会 場

栃木市 (成年男子・少年男子) (成年男子) (少年男子) 下野市 (成年女子・少年女子) 野木町 (成年女子・少年女子)	マルワ・アリーナとちぎ (栃木市総合運動公園総合体育館) 日立栃木体育館 学校法人國學院大學栃木学園第二体育館 下野市石橋体育センター 野木町立野木中学校体育館
---	---

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合計 (人)
成年男子	1	12	16	208	910
成年女子	1	12	19	247	
少年男子	1	12	19	247	
少年女子	1	12	16	208	

(注) 成年選手は、同種別の監督を兼任することができる。

4 競技上の規程及び方法

- (1) 1チームの構成は、選手12名とする。
- (2) 競技規則は、「2022年度公益財団法人日本ハンドボール協会競技規則」による。
- (3) 競技時間は、全種別とも下表のとおりとする。

前 半	休 憩	後 半
30 分	15 分	30 分

- (4) 試合方法は、各種別ともにトーナメント方式をもって実施する。なお、3位決定戦を行う。

5 予選方法

- (1) 各都道府県協会は、種別ごとに都道府県大会を実施し、ブロック大会及び本大会に出場する代表チームを決定する。

なお、都道府県大会の期日及び場所を2022年5月6日(金)までに公益財団法人日本

ハンドボール協会に報告すること。

- (2) 各ブロック大会主管協会は、本大会実施要項に準じてブロック大会を実施し、本大会に出場する代表を決定する。

なお、ブロック大会の期日及び場所を 2022 年 6 月 1 日（水）までに公益財団法人日本ハンドボール協会に報告すること。

- (3) 各都道府県協会及び各ブロック大会主管協会は、都道府県大会及びブロック大会終了後 7 日以内に予選記録及び正確な選手名を記したプログラム 2 通を公益財団法人日本ハンドボール協会宛に提出すること。
- (4) 各ブロック大会は、種別ごとに実施する。
- (5) ブロック大会区分及び代表チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都道府県名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2	2	2
関東	茨城、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	3	3	4	3
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	1	2	1	1
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	2	2	2	2
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	1	2	2	2
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	2	2	2	1
四国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	1	1
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	3	3	2
開催県	栃木	1	1	1	1
計		16	19	19	16

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 5 に定めるもののほか、次による。

- (1) 原則として、公益財団法人日本ハンドボール協会に登録したチーム、チーム役員、選手であること。
- (2) ブロック大会の申込み前に、公益財団法人日本ハンドボール協会へ国体登録を完了したチーム、チーム役員、選手であること。ただし、今大会に限り、コロナウイルス感染症対策のため、監督の交代要員として、役員のみ本国体の交代期限まで国体登録を認める。
- (3) すべての種別のチーム構成は、単一または、2 チーム以上の混成チームにしてもよい。
- (4) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ハンドボールコーチ 1、公認ハンドボールコーチ 2、または公認ハンドボールコーチ 3、公認ハンドボールコーチ 4 のいずれかの資格を有すること。また、有効期限は 2023 年 3 月 31 日以降のものでなければならない。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成 年 男 子 成 年 女 子 少 年 男 子 少 年 女 子	成 年 女 子 少 年 女 子	各種別とも1位40点、2位35点、3位30点、4位25点、5位(4チーム)各12.5点の競技得点を与える。

(2) 参加得点

大会(ブロック大会を含む)に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別の第1位から第5位までに、賞状を授与する。

9 参加申込み方法

総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定のWebページ(国民体育大会参加申込システム)へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県体育・スポーツ協会を通じて、2022年9月7日(水)までに申込手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は、所定のWebページ(国民体育大会参加申込システム)へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の監督・選手の変更は、死亡、疾病(コロナ感染症含む)、傷害、転勤等の特別な場合のみ認める。特別な事情で監督・選手を変更する場合は、それを証明する書類を添付し、当該都道府県体育・スポーツ協会を通じて、下記ア、イ、ウ宛にそれぞれ文書で届け出なければならない。届け出の手続きは、2022年10月4日(火)17時まで完了させていなければならない。
- (4) ユニホームの色等の変更は、上記(3)に準じて完了させていなければならない。

ア 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 6階
公益財団法人日本ハンドボール協会

TEL 03-6709-8940 FAX 03-6709-8941

イ 〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田一丁目1番20号

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会事務局

(栃木県国体・障害者スポーツ大会局 競技式典課 競技担当)

TEL 028-623-3849 FAX 028-623-3527

ウ 〒328-0043 栃木県栃木市境町19-3 駅前庁舎

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会栃木市実行委員会事務局

(栃木市総合政策部国体推進課)

TEL 0282-21-2022 FAX 0282-21-2023

なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより、参加申込み情報を修正すること。

10 参加上の注意

- (1) ブロック大会及び本大会に参加するチームは、単独・選抜（国体登録）のチーム構成にかかわらず、チーム名は都道府県名とする。
- (2) ユニホームはコートプレーヤー・ゴールキーパーそれぞれ同系色でない2着以上の色の異なるものを用意し、それぞれの胸に都道府県名を表記しなければならない。背番号は1～12番を使用しなければならない。ただし、試合中の出血及び破損による交換の場合には、この限りではない。なお、短パンツの下に着用するサイクリングパンツ及びユニホームの下に着用するアンダーシャツなど身に付けられる装具については、日本ハンドボール協会「服装や保護を目的とした装具に関する規定」に則って着用しなければならない。
- (3) 監督（チーム役員）・選手は、公益財団法人日本ハンドボール協会発行の登録証を持参しなければならない。各試合の開始前に登録証をもって本人であることを確認する。登録証を携帯していない場合は、試合に参加・出場することができない。
- (4) ユニホームは今大会に限り、写真で規定のものであるか確認を行う。
競技に使用する全種類のユニホームを指定された撮影方法で写真を撮り、鮮明に分かる写真を2022年9月16日（金）までに上記ウにFAXのうえ、郵送すること。
- (5) 参加資格に違反、その他不都合な行為があった時は、そのチーム及び個人の出場・参加を停止することがある。
- (6) 選手は、屋内用競技シューズを用意すること。
- (7) 試合会場のみ松ヤニ・松ヤニスプレーの使用を認める。練習会場での松ヤニ・松ヤニスプレーの使用は禁止する。練習会場には、若干数の練習球を用意する。
松ヤニ・松ヤニスプレー・松ヤニクリーナーは、出場チームで用意することとする。
- (8) 競技場内、表彰式では選手団が共通した衣服（ウォーミングアップで使用するもの、ジャージ）ならびに競技中に着用する競技別ユニホームには、いかなる形の広告や宣伝活動、コマーシャル等の表示がない衣服を着用するものとする。

11 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2022年9月11日（日） 午前10時

場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 会議室

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 6階 公益財団法人日本ハンドボール協会

TEL 03-6709-8940 FAX 03-6709-8941

(2) テクニカルデレゲート・審判会議

本大会では実施しない。ただし、必要事項は事前に別途通知、連絡する。

(3) 監督・代表者会議

本大会では実施しない。ただし、必要事項は事前に別途通知、連絡する。

(4) 総合表彰式

日 時 2022年10月10日（月） 全競技終了後

場 所 マルワ・アリーナとちぎ（栃木市総合運動公園総合体育館）

〒328-0123 栃木県栃木市川原田町760

TEL 0282-23-2523 FAX 0282-23-5467

[14] ハンドボール競技

栃木市
下野市
野木町

競技日程

		10月6日(木)	10月7日(金)	10月8日(土)	10月9日(日)	10月10日(月)
栃木市	マルワ・アリーナとちぎ(栃木市総合運動公園総合体育館)	「成年男子1回戦」 あ 10:00~11:15 い 11:40~12:55 う 14:00~15:15 え 15:40~16:55	「少年男子2回戦」 ④ 10:00~11:15 ⑤ 11:40~12:55 ⑥ 14:00~15:15 ⑦ 15:40~16:55	「少年男子準々決勝」 ⑫ 10:00~11:15 ⑬ 11:40~12:55 ⑭ 14:00~15:15 ⑮ 15:40~16:55	「少年男子準決勝」 ⑯ 10:00~11:15 ⑰ 11:40~12:55 「成年男子3位決定戦」 そ 14:00~15:15 「成年男子決勝」 た 15:50~17:05	「少年男子3位決定戦」 ⑱ 10:00~11:15 「少年男子決勝」 ⑲ 11:50~13:05
	日立栃木体育館	「成年男子1回戦」 お 10:00~11:15 か 11:40~12:55 き 14:00~15:15 く 15:40~16:55	「成年男子準々決勝」 け 10:00~11:15 こ 11:40~12:55 さ 14:00~15:15 し 15:40~16:55	「成年男子準決勝」 す 10:00~11:15 せ 11:40~12:55		
	学校法人國學院大學栃木学園第二体育館	「少年男子1回戦」 ① 10:00~11:15 ② 11:40~12:55 ③ 14:00~15:15	「少年男子2回戦」 ⑧ 10:00~11:15 ⑨ 11:40~12:55 ⑩ 14:00~15:15 ⑪ 15:40~16:55			

				10月6日(木)	10月7日(金)	10月8日(土)	10月9日(日)	10月10日(月)
下野市	下野市石橋体育センター	成年女子・少年女子	D	「成年女子1回戦」 ア 10:00~11:15	「成年女子2回戦」 エ 9:00~10:15	「成年女子準々決勝」 シ 10:00~11:15	「成年女子準決勝」 タ 10:00~11:15	「成年女子3位決定戦」 ツ 10:00~11:15
				「少年女子1回戦」 a 11:40~12:55 b 13:20~14:35 c 15:00~16:15 d 16:40~17:55	「少年女子準々決勝」 オ 10:40~11:55 カ 12:20~13:35 キ 14:00~15:15 「少年女子準々決勝」 i 15:40~16:55 j 17:20~18:35	「少年女子準決勝」 ス 11:40~12:55 「少年女子準決勝」 m 13:20~14:35 n 15:00~16:15	「少年女子3位決定戦」 チ 11:40~12:55 「少年女子3位決定戦」 o 13:20~14:35 「少年女子決勝」 p 15:10~16:25	「成年女子決勝」 テ 11:50~13:05
野木町	野木町立野木中学校体育館	成年女子・少年女子	E	「成年女子1回戦」 イ 9:00~10:15	「成年女子2回戦」 ク 9:00~10:15	「成年女子準々決勝」 セ 10:00~11:15		
				「少年女子1回戦」 ウ 10:40~11:55 e 12:20~13:35 f 14:00~15:15 g 15:40~16:55 h 17:20~18:35	「少年女子準々決勝」 ケ 10:40~11:55 コ 12:20~13:35 サ 14:00~15:15 「少年女子準々決勝」 k 15:40~16:55 l 17:20~18:35	「少年女子準決勝」 ソ 11:40~12:55		

表彰式	5位表彰式	成年男子	10月7日(金)	試合終了後随時	日立栃木体育館
		成年女子	10月8日(土)	試合終了後随時	下野市石橋体育センター
					野木町立野木中学校体育館
		少年男子	10月8日(土)	試合終了後随時	マルワ・アリーナとちぎ(栃木市総合運動公園総合体育館)
	少年女子	10月7日(金)	試合終了後随時	下野市石橋体育センター	
				野木町立野木中学校体育館	
	3位4位表彰式	成年男子	10月9日(日)	試合終了後随時	マルワ・アリーナとちぎ(栃木市総合運動公園総合体育館)
		成年女子	10月10日(月)	試合終了後随時	下野市石橋体育センター
		少年男子	10月10日(月)	試合終了後随時	マルワ・アリーナとちぎ(栃木市総合運動公園総合体育館)
		少年女子	10月9日(日)	試合終了後随時	下野市石橋体育センター
	種別表彰式	成年男子	10月9日(日)	17時20分	マルワ・アリーナとちぎ(栃木市総合運動公園総合体育館)
		成年女子	10月10日(月)	13時20分	下野市石橋体育センター
		少年男子	10月10日(月)	13時20分	マルワ・アリーナとちぎ(栃木市総合運動公園総合体育館)
		少年女子	10月9日(日)	16時40分	下野市石橋体育センター
	総合表彰式		10月10日(月)	全競技終了後	マルワ・アリーナとちぎ(栃木市総合運動公園総合体育館)

ハンドボール競技組合せ表

【 成 年 男 子 】

A：マルワ・アリーナとちぎ（栃木市総合運動公園総合体育館）

B：日立栃木体育館

都道府県名	10/6 (木)	10/7 (金)	10/8 (土)	10/9 (日)	10/8 (土)	10/7 (金)	10/6 (木)	都道府県名
	1回戦	準々決勝	準決勝	決勝 3位決定戦	準決勝	準々決勝	1回戦	
埼玉県 1	A—あ 10:00	B—け 10:00	B—す 10:00	決勝 A—た 15:50	B—せ 11:40	B—こ 11:40	B—お 10:00	宮城県 9
岐阜県 2								愛知県 10
岩手県 3	A—い 11:40	B—け 10:00	B—す 10:00	決勝 A—た 15:50	B—せ 11:40	B—こ 11:40	B—か 11:40	栃木県 11
広島県 4								大分県 12
香川県 5	A—う 14:00	B—さ 14:00	B—す 10:00	決勝 A—た 15:50	B—せ 11:40	B—こ 11:40	B—き 14:00	山口県 13
群馬県 6								大阪府 14
富山県 7	A—え 15:40	B—さ 14:00	B—す 10:00	3位決定戦 A—そ 14:00	B—せ 11:40	B—こ 11:40	B—し 15:40	北海道 15
佐賀県 8								茨城県 16

ハンドボール競技組合せ表

【 成 年 女 子 】

D：下野市石橋体育センター E：野木町立野木中学校体育館

都道府県名	10/6 (木)	10/7 (金)	10/8 (土)	10/9 (日)	10/10 (月)	10/9 (日)	10/8 (土)	10/7 (金)	10/6 (木)	都道府県名
	1回戦	2回戦	準々決勝	準決勝	決勝 3位決定戦	準決勝	準々決勝	2回戦	1回戦	
石川県 1		D-エ 9:00						E-ク 9:00	10	広島県
山口県 2	D-ア 10:00									11
神奈川県 3			D-シ 10:00					E-セ 10:00	12	大阪府
沖縄県 4	D-オ 10:40									13
京都府 5				D-タ 10:00	決勝	D-チ 11:40		E-ケ 10:40	14	鹿児島県
愛知県 6	D-カ 12:20				D-テ 11:50					
東京都 7			D-ス 11:40					E-コ 12:20	16	三重県
福島県 8	D-キ 14:00						E-ソ 11:40		17	香川県
熊本県 9					3位決定戦			E-ウ 10:40	18	岩手県
				D-ツ 10:00			E-サ 14:00		19	茨城県

ハンドボール競技組合せ表

【 少年 女 子 】

D : 下野市石橋体育センター

E : 野木町立野木中学校体育館

都道府県名	10/6 (木)	10/7 (金)	10/8 (土)	10/9 (日)	10/8 (土)	10/7 (金)	10/6 (木)	都道府県名
	1回戦	準々決勝	準決勝	決勝 3位決定戦	準決勝	準々決勝	1回戦	
千葉県 1	D-a 11:40	D-i 15:40	D-m 13:20	決勝 D-p 15:10	D-n 15:00	E-k 15:40	9	東京都
香川県 2							10	北海道
三重県 3	D-b 13:20	D-i 15:40	D-m 13:20	決勝 D-p 15:10	D-n 15:00	E-k 15:40	11	富山県
大分県 4							12	福島県
埼玉県 5	D-c 15:00	D-j 17:20	D-m 13:20	決勝 D-p 15:10	D-n 15:00	E-l 17:20	13	兵庫県
宮城県 6							14	栃木県
山口県 7	D-d 16:40	D-j 17:20	D-m 13:20	3位決定戦 D-o 13:20	D-n 15:00	E-l 17:20	15	沖縄県
京都府 8							16	愛知県